



三菱 HEMS

形 名 HM-GW03 HM-ST03-E HM-ST03-W

据付工事説明書 **基本編** 販売店・工事店様用

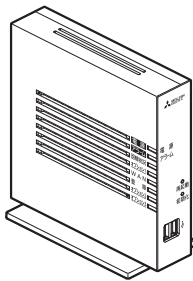
この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。

この据付工事説明書は、据付工事に関わるシステムの設定について記載しております。システムの設定をする前に、この据付工事説明書を必ずお読みください。

この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また当社指定部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。

システム構成機器の据付けについては、各機器の据付工事説明書をご覧ください。

<HM-ST03-E HM-ST03-W セット構成>



情報収集ユニット
(HM-GW03)



エネルギー計測ユニット
(HM-EM03-E)
(HM-EM03-W)

※情報収集ユニット単体、またはエネルギー計測ユニットの代わりとして計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）との構成でも使用できます。

- 据付工事説明書は予告なしで変更する場合があります。
最新の据付工事説明書については、下記のホームページをご覧ください。
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/hems>

この製品は国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

もくじ

概要	基本編	詳細編
システム概要図	4	4
HEMSシステム 手配図と接続先図	6	6
HEMSシステム結線図1：エネルギー計測ユニット	8	8
HEMSシステム結線図2：計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）	10	10
HEMSシステム結線図3：エネルギー計測ユニットとEV用パワーコンディショナ	12	12
HEMSシステム結線図4：計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）と太陽光発電システム用計測ユニット（IFU）	14	14
HEMSシステム結線図5：エネルギー計測ユニットと太陽光発電システム用計測ユニット（IFU）	16	16
HEMSシステム結線図6：計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）とオムロンハイブリッド蓄電システム（1次送り）	18	18
HEMSシステム結線図7：計測機能内蔵型分電盤（ホーム分電盤）とオムロンハイブリッド蓄電システム（2次送り）	20	20
エネルギー計測機器併設早見表	18	22
据付工事 全体の流れ	21	25
準備	基本編	詳細編
システムの設定を行う前の準備	22	26
タブレット端末と情報収集ユニットの接続	28	32
パソコンと情報収集ユニットの接続	30	34
ログイン	基本編	詳細編
ログインする	31	35
時刻設定	33	37
設置/接続	基本編	詳細編
機器の設置方法／機器の接続方法	35	39
コントローラー設定	基本編	詳細編
システム設定	37	41
機器設定	基本編	詳細編
機器名称	39	43
機器接続登録	41	45
機器接続確認	48	52
エネルギー計測機器の設定	51	55
詳細設定	基本編	詳細編
機器オプション設定	70	70
簡易間取り設定	72	72
空気循環連動設定	75	75
スマートメーター設定	77	77
ハイブリッド蓄電システム設定	80	80
グラフ表示設定	82	82
エネマネ設定	84	84
引渡確認	基本編	詳細編
クラウド接続確認	66	86
リセット設定	67	87
チェックリスト	68	88
据付後の確認	70	90

こんなときは	71... 91
--------------	----------

付録

「詳細設定」について	75.....
接続の基本構成と動作環境	78... 95
パソコン接続設定	96
仕様	79... 115

修理ツール

ログイン	116
不具合機器一覧	117
エラー表示	123
ログ表示 動作ログ	125
機器交換・削除・位置確認	126
ログイン情報の初期化	131

三菱HEMSの「取扱説明書」と「据付工事説明書」の詳細編および、「技術・工事マニュアル」は、下記サイトから、最新バージョンをダウンロードをお願いいたします。

暮らしと設備の業務支援サイト「WIN2K」



HEMS HM-ST03-E、-W 技術資料ページ



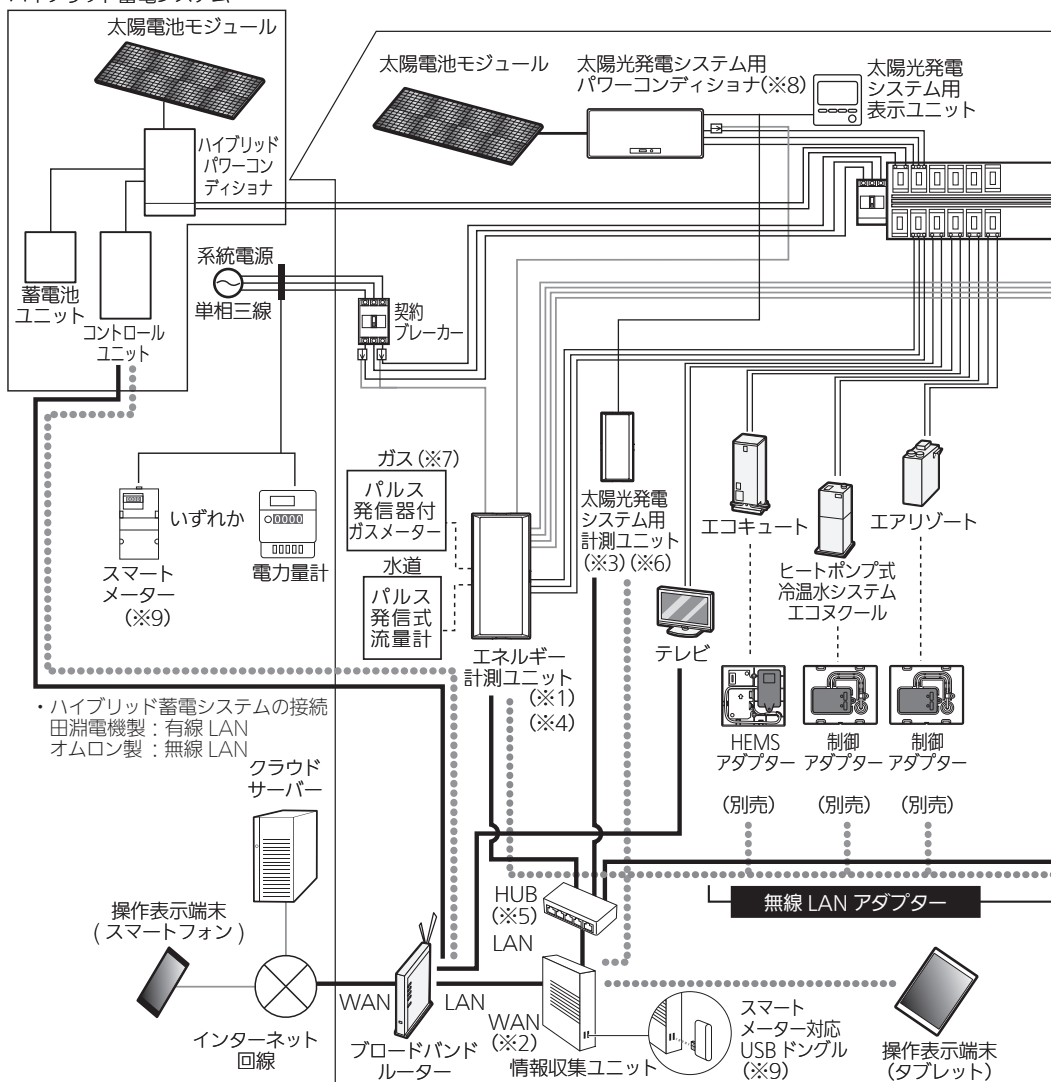
<http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink/displayProductTec.do?pid=251662&ccd=105020&mcid=SUETSUKE#SUETSUKE>

The screenshot shows the WINK (暮らしと設備の業務支援サイト) interface. At the top, there are navigation tabs for 'WIN2Kトップ', '製品情報', 'Webカタログ', 'ご利用ガイド', 'お問い合わせ', and '資料請求'. Below the navigation, there's a search bar and a list of documents. Three callouts point to specific sections:

- 取扱説明書 最新バージョン**: Points to the '取扱説明書' section under 'HEMS [本体] 本体 HM-ST03-E'.
- 据付工事説明書 最新バージョン**: Points to the '据付工事説明書' section under '据付工事説明書'.
- 技術・工事マニュアル 最新バージョン**: Points to the '技術・工事マニュアル' section under '技術・工事マニュアル'.

システム概要図

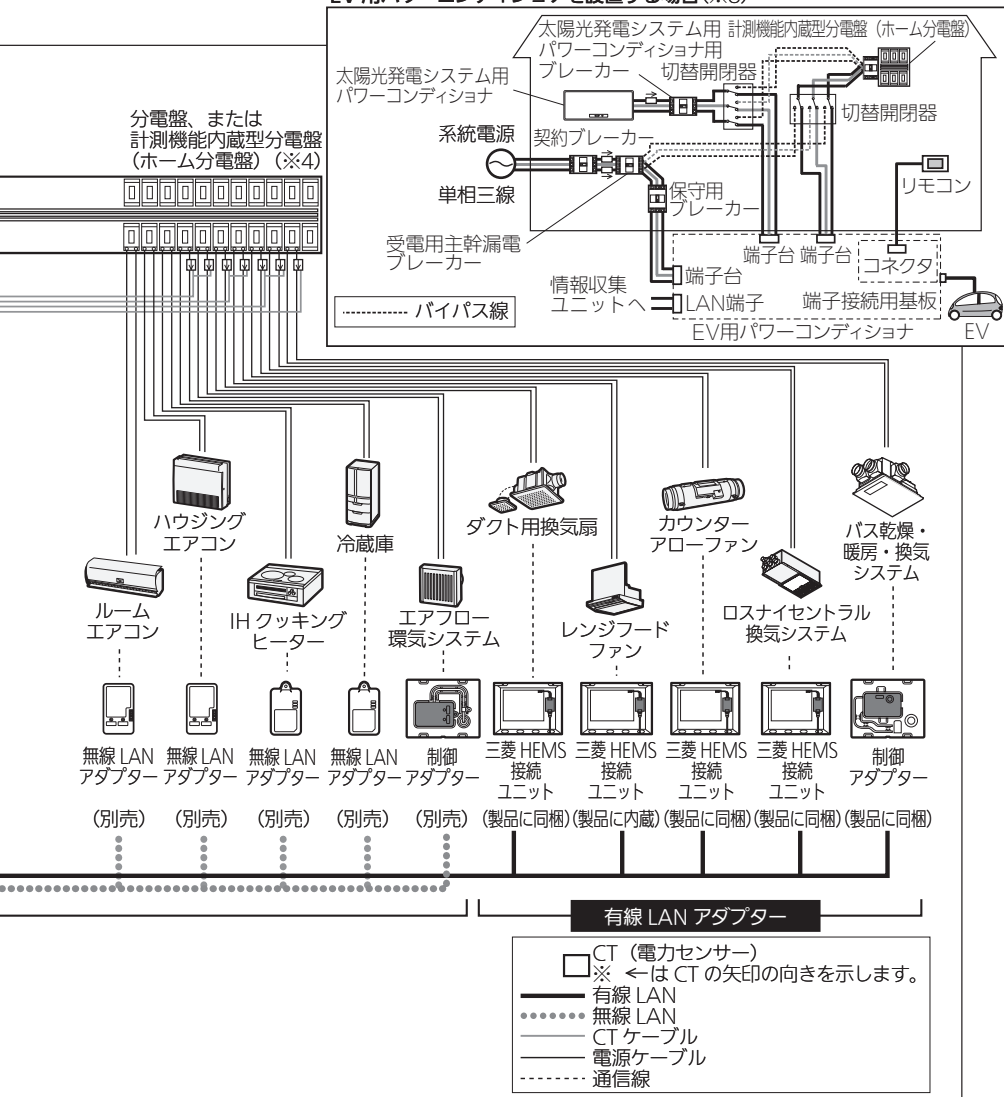
ハイブリッド蓄電システム



- ※1：有線LAN対応機種(HM-EM03-E)と無線LAN対応機種(HM-EM03-W)があります。
情報収集ユニットとの接続には、設置環境に応じて、どちらかを選択してください。
- ※2：情報収集ユニットとブロードバンドルーターを接続するときは、情報収集ユニットのWANポートとブロードバンドルーターのLANポートをLANケーブルで接続してください。
- ※3：太陽光発電システム用計測ユニットは有線接続用と無線接続用の2種類があります。
情報収集ユニットとの接続には、設置環境に応じて、どちらかを選択してください。
- ※4：計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)使用時は、エネルギー計測ユニットは併設できません。
- ※5：有線LANの接続が、情報収集ユニットの有線LANの口数(4口)で足りる場合は、HUBは不要です。

他社製機器との接続方法については、HEMSシステム 手配図(→6ページ)をご確認ください。

EV 用パワーコンディショナを設置する場合(※8)



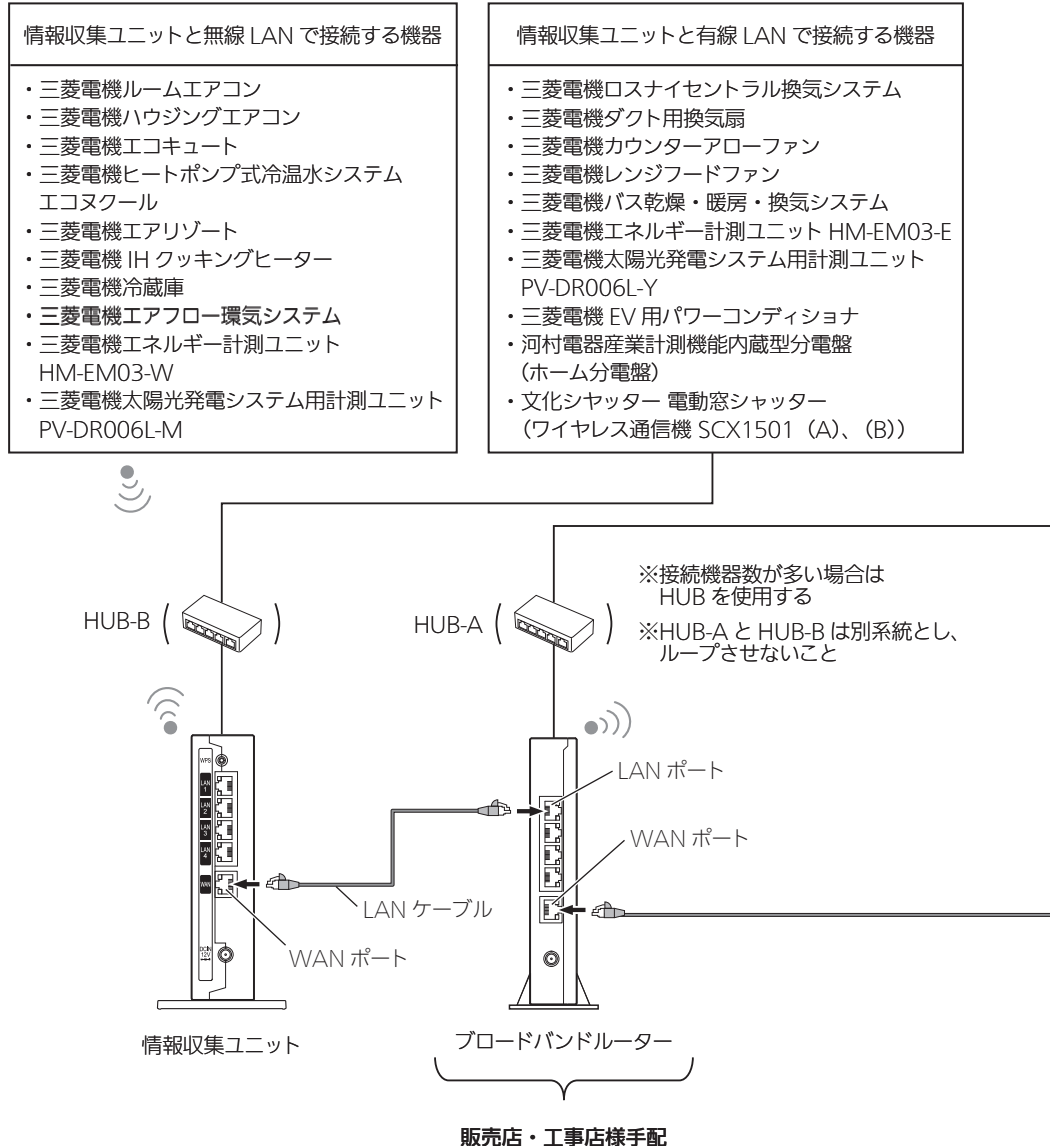
※6：本構成は、PV-DR006Lシリーズを使用した場合の構成です。
それ以外の構成については、太陽光発電の計測は、CTでの計測となります。

※7：別途メーターの設置(有償)が必要となる場合があります。
ガスと水道は、エネルギー計測ユニット、または計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)のどちらかに接続します。

※8：太陽光発電システム用パワーコンディショナとEV用パワーコンディショナを併設される場合は、エネマネ設定を確認してください。

※9：スマートメーターをHEMSに接続するには、スマートメーター対応USB Dongle(形名：HM-DG01-S、別売)が必要です。

HEMSシステム 手配図と接続先図



これらの機器を接続する場合は、必ずブロードバンドルーターを手配ください。

ブロードバンドルーターに 有線 LAN で接続する機器 (※3)

- ・三菱電機液晶テレビ
- ・田淵電機蓄電ハイブリッドシステム
- ・パナソニック照明スイッチ
(アドバンスシリーズ用無線アダプタ)
- ・パナソニック エコキュート、
パナソニック エアコン
(無線ゲートウェイ / メディアコンバーター)
- ・文化シャッター 電動窓シャッター
(ワイヤレス通信機 2 SCX1801)

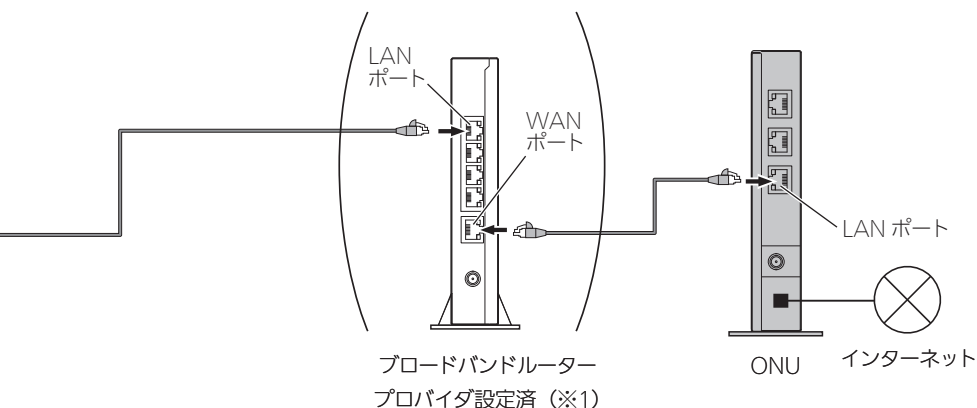
ブロードバンドルーターに 無線 LAN で接続する機器

- ・オムロンハイブリッド蓄電システム (※2)
- ・ダイキンエアコン用無線 LAN 接続アダプター
- ・パナソニック エアコン 無線 LAN 内蔵モデル

(※2) カラー表示ユニットと計測ユニット
の両方をブロードバンドルーターに
無線接続してください。



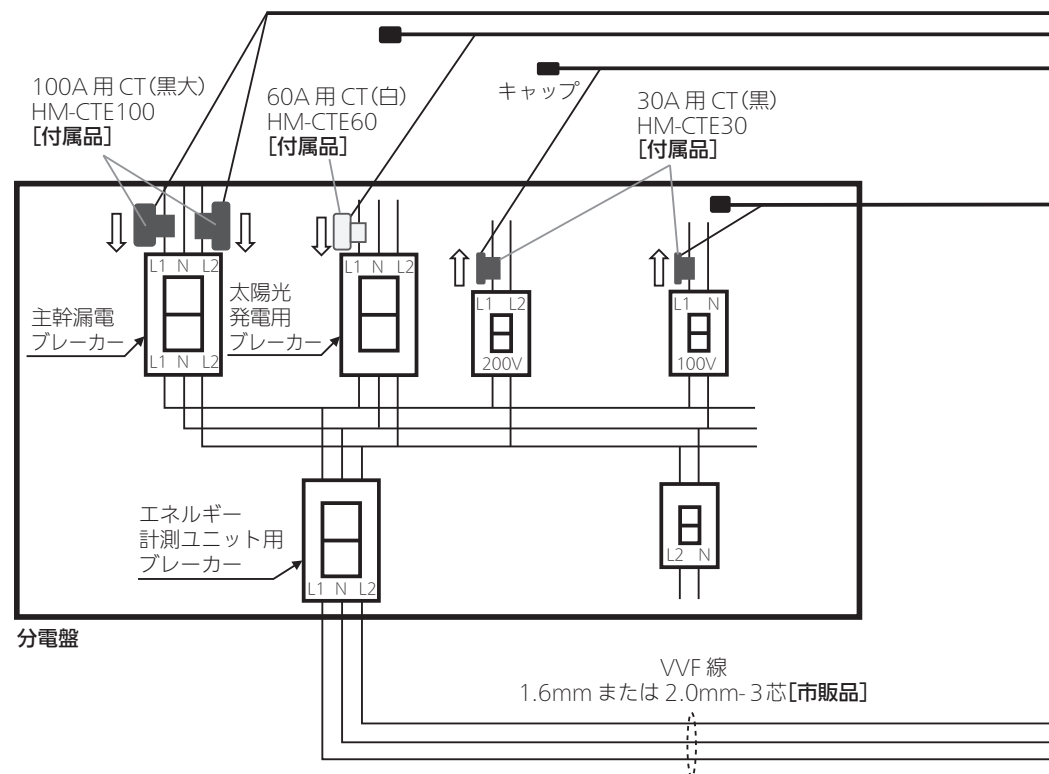
(※3) 情報収集ユニットからブロードバンドルーターに有線 LAN の接続を変更したときは、機器側のコンセント抜き差しまたはブレーカーの切 / 入で再起動してください。
再起動が難しい「田淵電機蓄電ハイブリッドシステム」は、メーカー取扱説明書に従って IP アドレスの取得 (DHCP) を行ってください。



エンドユーザー様手配

(※1) 販売店・工事店様手配ブロードバンドルーターを
ユーザー様にてプロバイダ設定される場合は不要

HEMSシステム結線図1：エネルギー計測ユニット

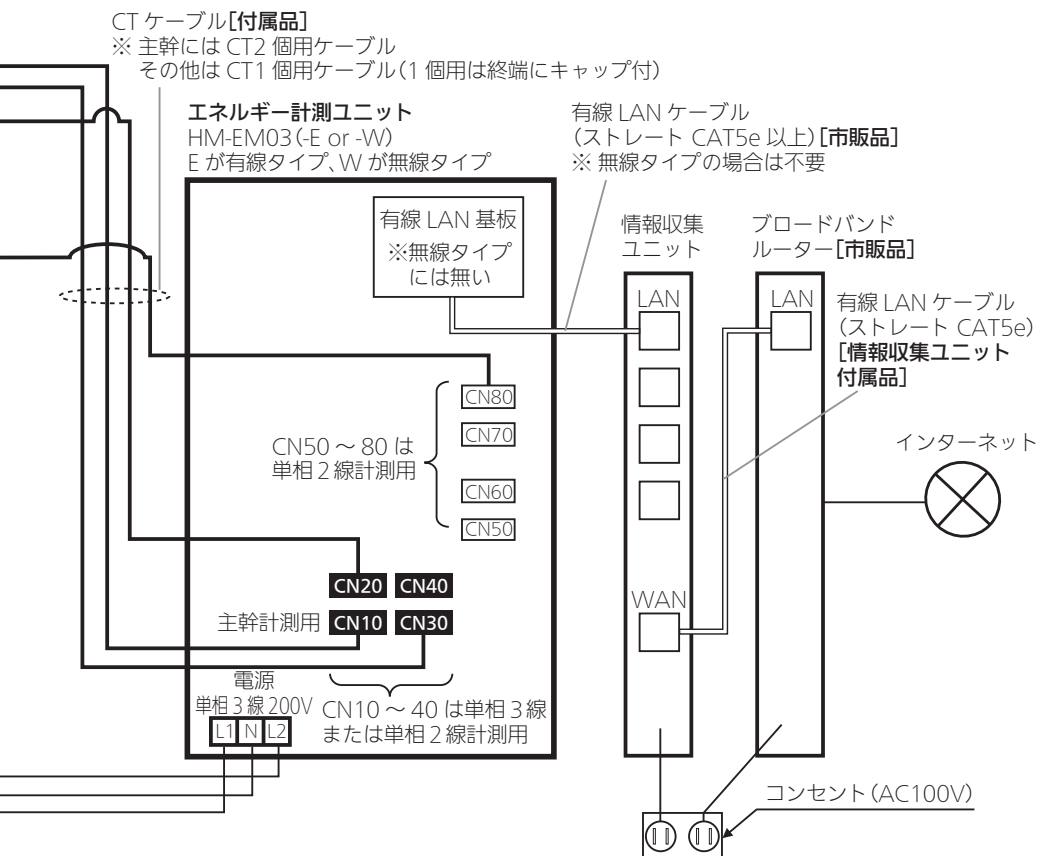


■エネルギー計測ユニットの主な付属品

- ① 100A 用 CT (黒大) × 2 個
 - ② 60A 用 CT (白) × 1 個
 - ③ 30A 用 CT (黒) × 2 個
 - ④ CT ケーブル (CT2 個用) × 1 本
 - ⑤ CT ケーブル (CT1 個用) × 3 本
- ※ CT の計測箇所を増やすためには、オプションの CT ならびに CT ケーブルをご購入ください。
最大 14 箇所まで計測できます。

■主な注意事項

- ① CT の取付け方向にご注意ください。
 上の方向に取付け (CT にシール貼りしています)
- ② CN10 は主幹計測用。CN20 ~ 40 は太陽光や蓄電池等計測用。CN50 ~ 80 は負荷計測用。
 (なお、CN20 ~ 40 を負荷計測に使用することもできます。)



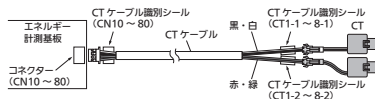
- ③ エネルギー計測基板のコネクター表示と CT ケーブル識別シールを合わせて接続してください。
CT ケーブルと CT を接続してください。
※ CN10、30、50、70 用の CT ケーブルは製品に同梱されています。

<参考>CT ケーブル No.

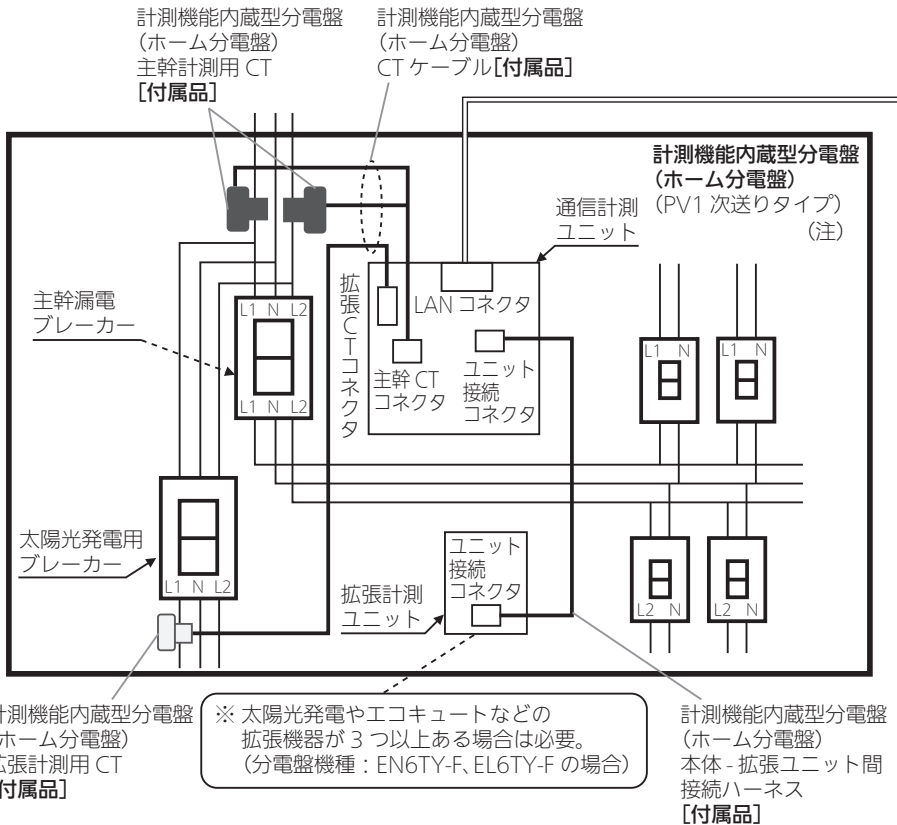
コネクター No	CT ケーブル色(黒・白)	
	CT ケーブル色(赤・緑)	

CN10	CT1-1 CT1-2	CN20	CT2-1 CT2-2	CN30	CT3-1 CT3-2	CN40	CT4-1 CT4-2	CN50	CT5-1 CT5-2	CN60	CT6-1 CT6-2	CN70	CT7-1 CT7-2	CN80	CT8-1 CT8-2
------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------

※ 設置ツールにて CT の初期設定を実施するときに情報が必要となるため。



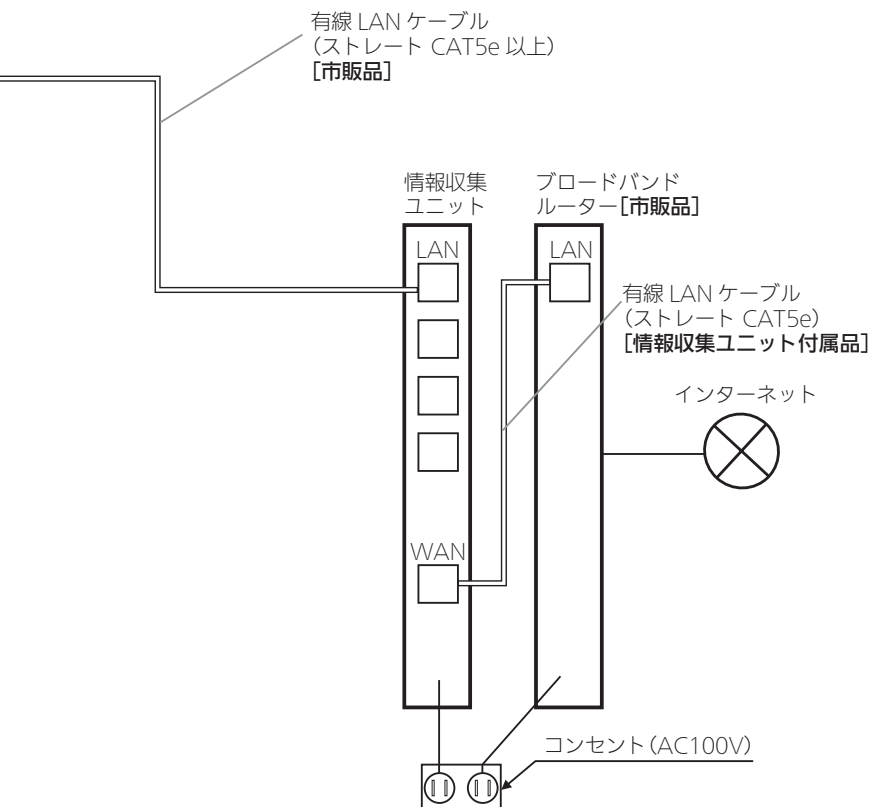
HEMSシステム結線図2：計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)



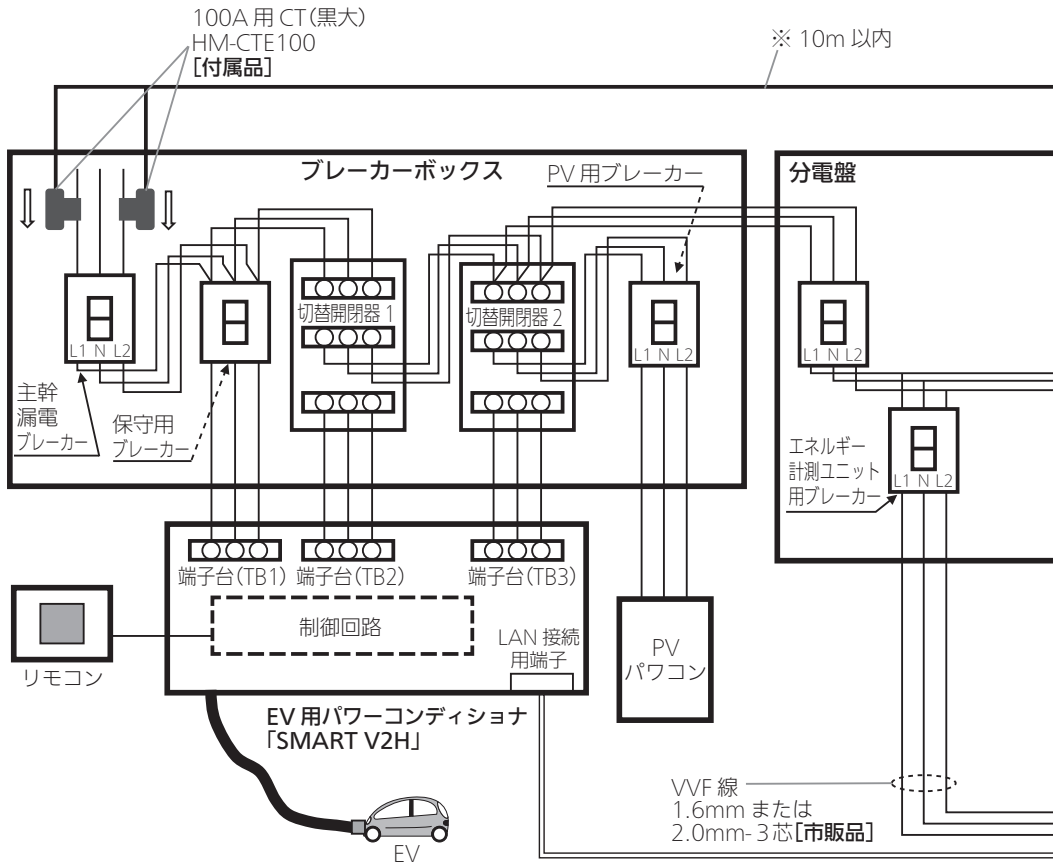
■主な注意事項

- ① CT の取付け方向にご注意ください。
(詳細は計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)の『設計・施工ガイドブック』を参照ください。)

(注) ホーム分電盤のタイプ(種類)です。詳細は計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)の『設計・施工ガイドブック』を参照してください。



HEMSシステム結線図3：エネルギー計測ユニットとEV用パワーコンディショナ



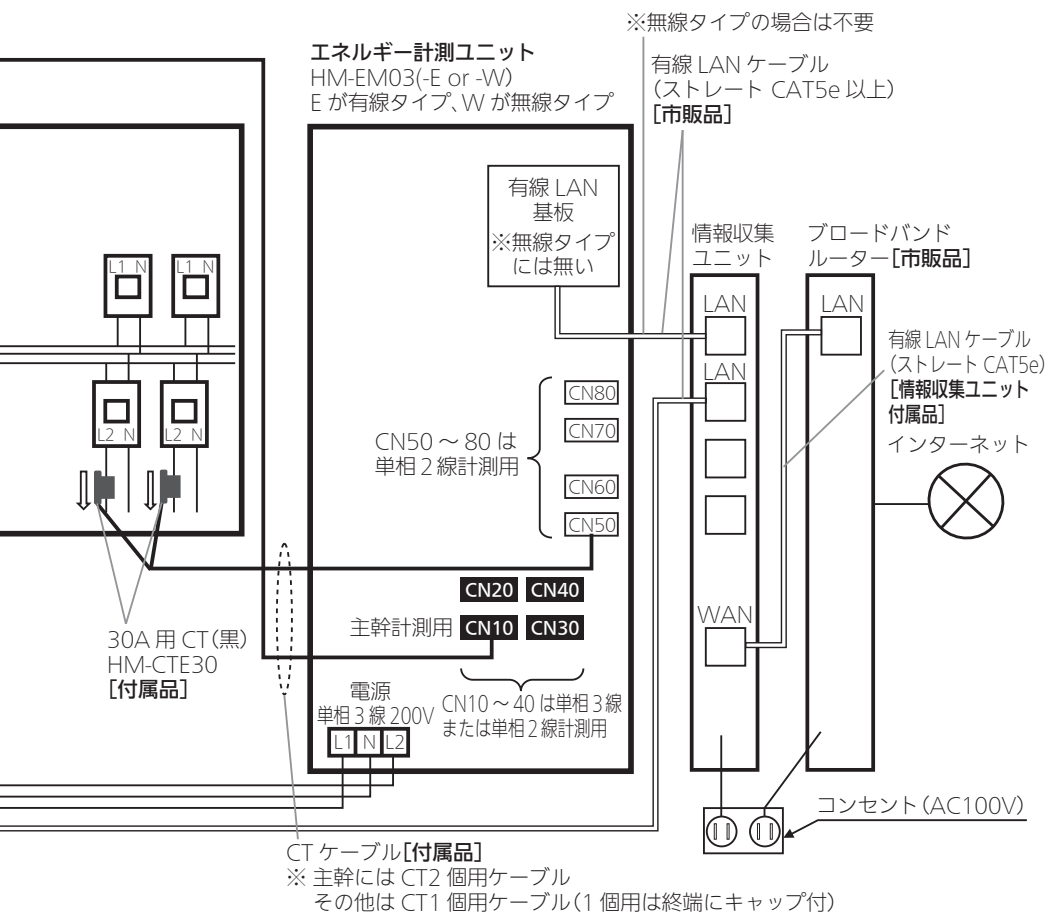
■エネルギー計測ユニットの主な付属品

- ① 100A 用 CT (黒大) × 2 個
- ② 30A 用 CT (黒) × 2 個
- ③ CT ケーブル (CT2 個用) × 1 本
- ④ CT ケーブル (CT1 個用) × 3 本

※ CT の計測箇所を増やすためには、オプションの CT ならびに CT ケーブルをご購入ください。
最大 14 箇所まで計測できます。

■主な注意事項

- ① CT の取付け方向にご注意ください。
↑の方向に取付け (CT にシール貼りしています)
- ② CN10 は主幹計測用。CN20 ～ 40 は太陽光や蓄電池等計測用。CN50 ～ 80 は負荷計測用。
(なお、CN20 ～ 40 を負荷計測に使用することもできます。)



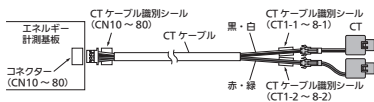
- ③ エネルギー計測基板のコネクター表示と CT ケーブル識別シールを合わせて接続してください。
CT ケーブルと CT を接続してください。
※CN10、30、50、70 用の CT ケーブルは製品に同梱されています。

＜参考＞CT ケーブル No.

コネクタ No	CT ケーブル色(黒・白)
	CT ケーブル色(赤・緑)

CN10	CT1-1 CT1-2	CN20	CT2-1 CT2-2	CN30	CT3-1 CT3-2	CN40	CT4-1 CT4-2	CN50	CT5-1 CT5-2	CN60	CT6-1 CT6-2	CN70	CT7-1 CT7-2	CN80	CT8-1 CT8-2
------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------

※設置ツールにてCTの初期設定を実施するときに情報が必要となるため。

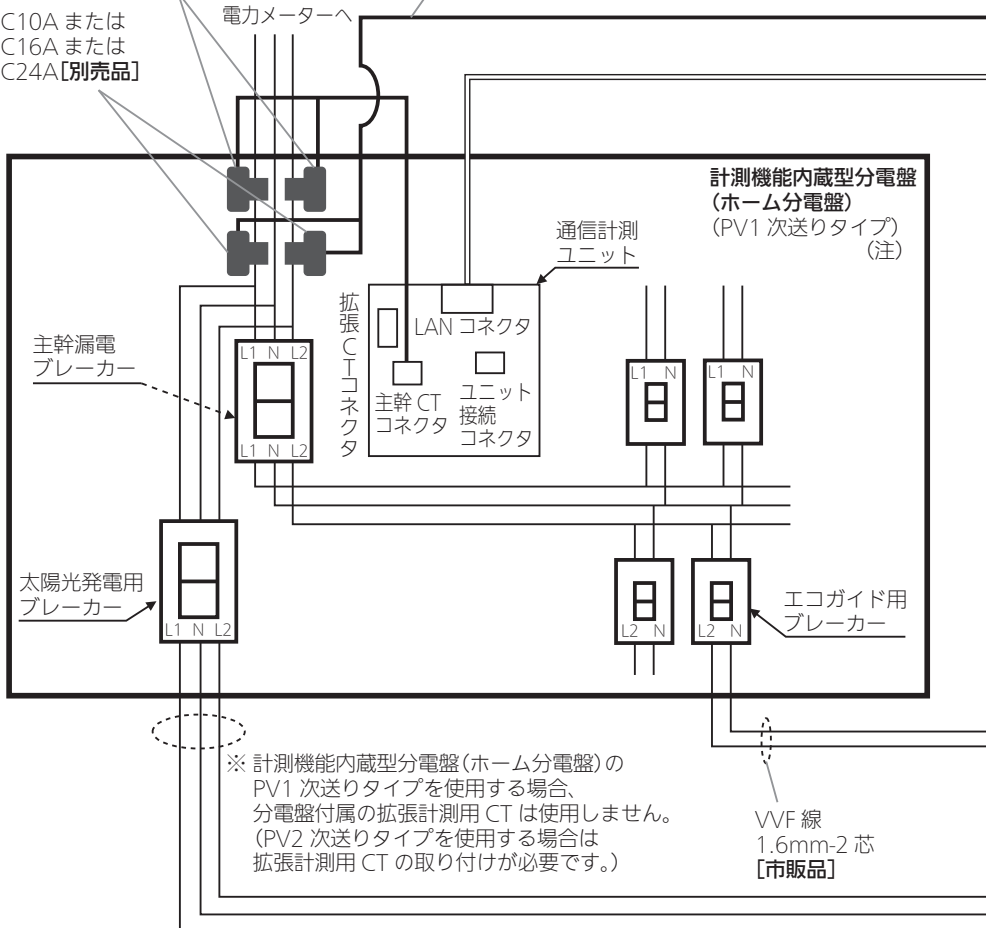


HEMSシステム結線図4: 計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)と太陽光発電システム用計測ユニット(IFU)

計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)
主幹計測用CT [分電盤付属品]

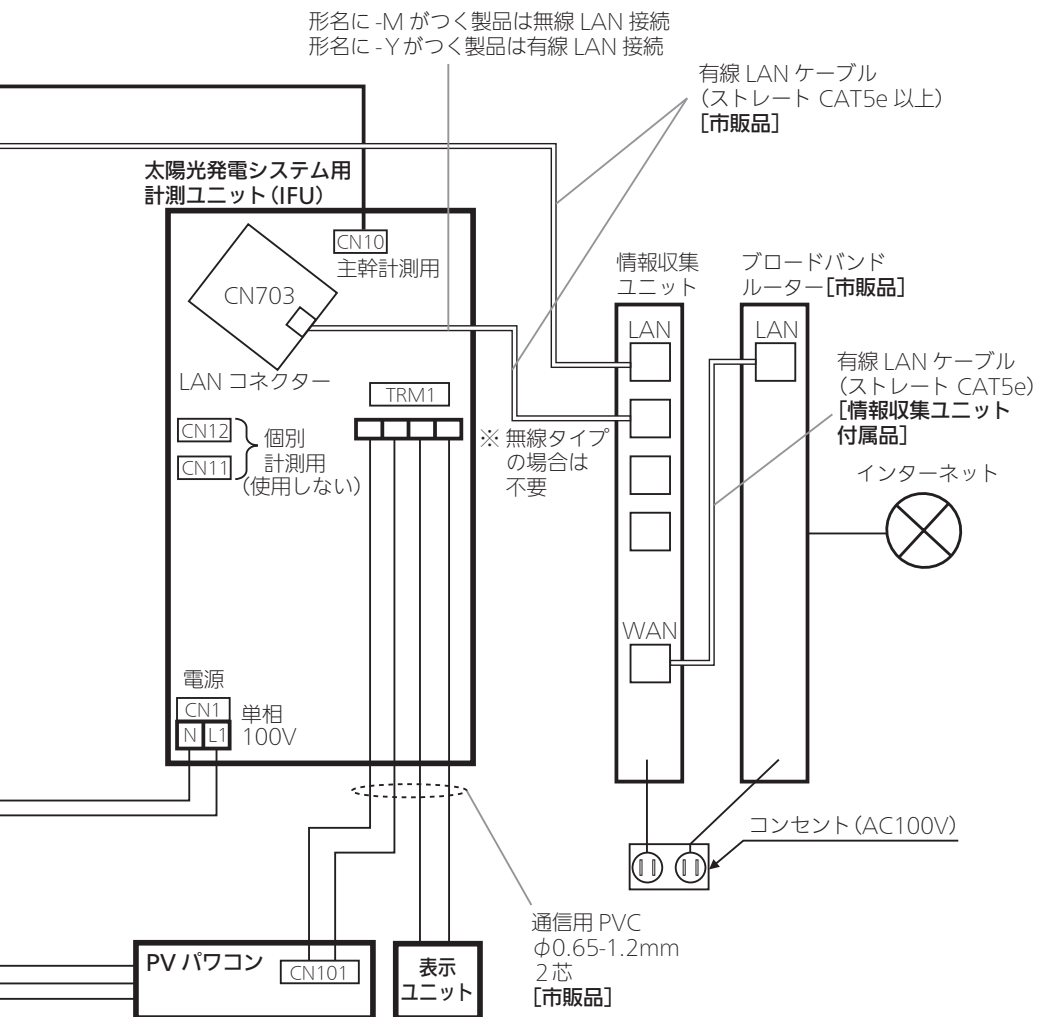
PV-DC10A または
PV-DC16A または
PV-DC24A [別売品]

電力計測用電流センサー用接続ケーブル [付属品]
※ IFU に付属の CT ケーブルを使用してください。



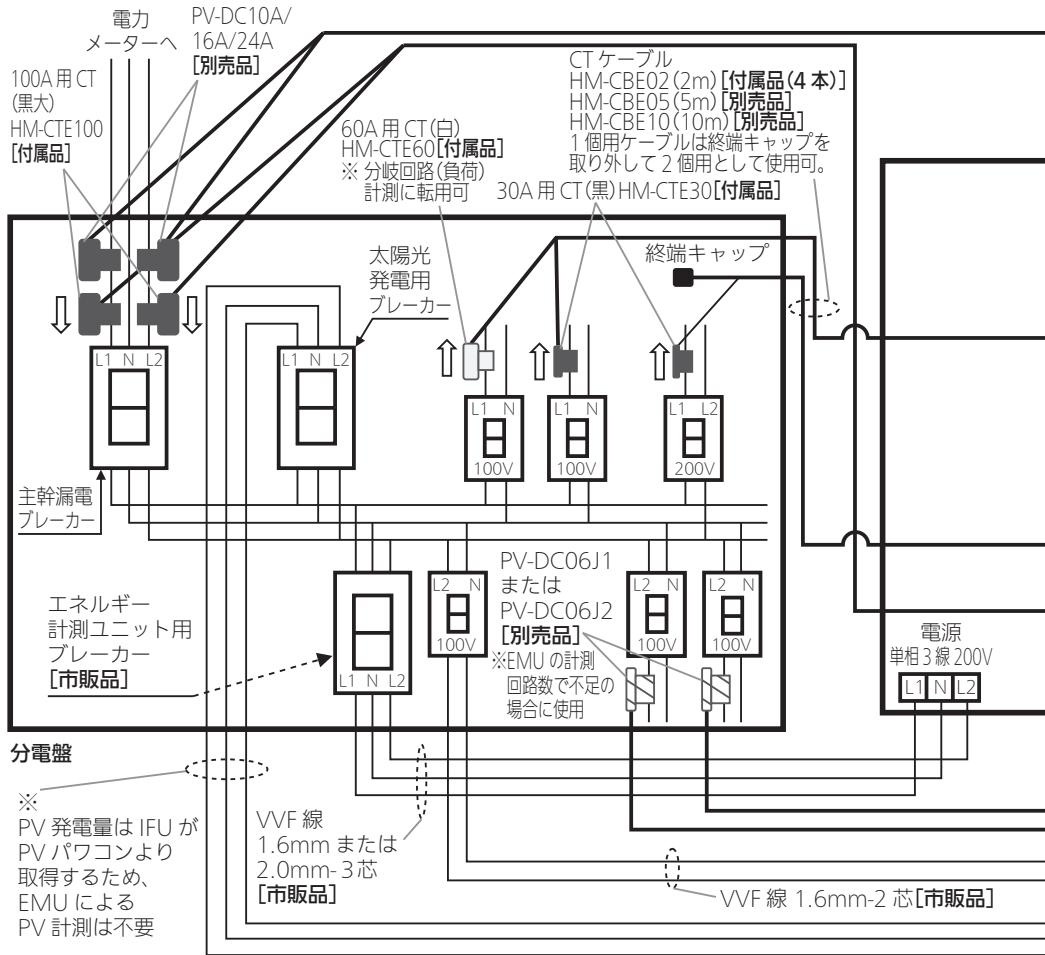
■主な注意事項

- ① 電力見守り通知の「事前通知」を利用するには、この図のように IFU、計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)の両方で主幹計測を行う必要があります。
- ② PV2 次送りタイプを使用する場合は、計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)の拡張計測用 CT の取り付けが必要です。
その場合、計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)と IFU の両方で PV を計測している事になり、二重計測となります。
設置ツール「詳細設定」→「エネマネ設定」で計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)の PV 計測値を使用しない設定をしてください。



(注) ホーム分電盤のタイプ(種類)です。詳細は計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)の『設計・施工ガイドブック』を参照してください。

HEMSシステム結線図5：エネルギー計測ユニットと太陽光発電システム用計測ユニット(IFU)

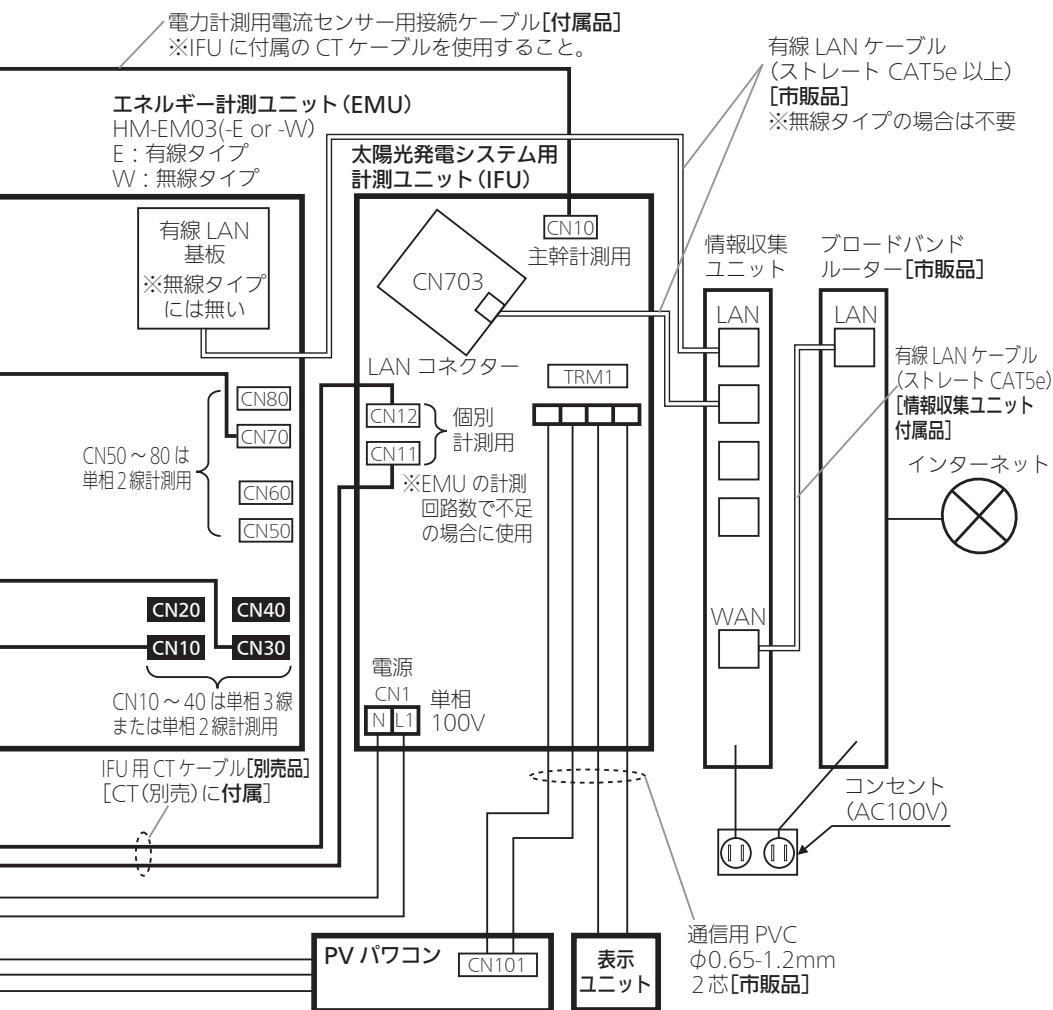


■エネルギー計測ユニットの主な付属品

- ① 100A 用 CT(黒大) × 2 個
 - ② 60A 用 CT(白) × 1 個
 - ③ 30A 用 CT(黒) × 2 個
 - ④ CT ケーブル(CT2 個用) × 1 本
 - ⑤ CT ケーブル(CT1 個用) × 3 本
- ※ CT の計測箇所を増やすためには、オプションの CT ならびに CT ケーブルをご購入ください。

■主な注意事項

- ① エネルギー計測ユニットと接続するCTの取付け方向にご注意ください。
 〆の方向に取付け(CT にシール貼りしています)
- ② CN10 は主幹計測用。CN20 ~ 40 は太陽光や蓄電池等計測用。CN50 ~ 80 は負荷計測用。
 (なお、CN20 ~ 40 を負荷計測に使用することもできます。)



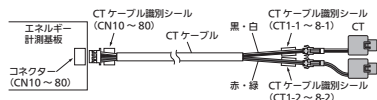
- ③ エネルギー計測基板のコネクタ表示と CT ケーブル識別シールを合わせて接続してください。
CT ケーブルと CT を接続してください。
※CN10、30、50、70 用の CT ケーブルは製品に同梱されています。
- ④ 電力見守り通知の「事前通知」を利用するためには、この図のように IFU、EMU の両方で主幹計測を行う必要があります。

<参考>CT ケーブル No.

コネクタ No	CT ケーブル色 (黒・白)	
	CT ケーブル色 (赤・緑)	

CN10	CT1-1 CT1-2	CN20	CT2-1 CT2-2	CN30	CT3-1 CT3-2	CN40	CT4-1 CT4-2	CN50	CT5-1 CT5-2	CN60	CT6-1 CT6-2	CN70	CT7-1 CT7-2	CN80	CT8-1 CT8-2
------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------	------	----------------

※設置ツールにて CT の初期設定を実施するときに情報が必要となるため。



エネルギー計測機器併設早見表

【エネルギー計測機器仕様表】

	単独設置可否	主幹最大電流 (片相)	最大分岐回路 計測数	電力見守り通知 リアルタイム 対応可否
三菱電機エネルギー計測ユニット HM-EM03	可	100A	14 ^{※1}	可
三菱電機太陽光発電システム用計測ユニット PV-DR006L-IFU-MRC-M/Y PV-DR006L-SET-M/Y	可	100A	2	否
河村電器産業計測機能内蔵型分電盤 (ホーム分電盤)	可	100A	※2	可
田淵電機蓄電ハイブリッドシステム	否	※3	なし	否
オムロンハイブリッド蓄電システム	可	※3	6	否
三菱電機スマートメーター対応USB Dongle HM-DG01-S	可	制限なし	なし	否
三菱電機EV用パワーコンディショナ	可 ^{※4}	50A	なし	否

※1：HM-EM03 2台設置時の最大分岐回路計測数は30です。

※2：分電盤仕様による。

※3：各メーカー仕様による。

※4：EV用パワーコンディショナより上流側(電力系統側)に分岐がある場合、正しく計測できません。

【エネルギー計測機器併設可否早見表】

	B					
	三菱電機エネルギー計測ユニット HM-EM03	三菱電機太陽光発電システム用計測ユニット PV-DR006L-IFU-MRC-M/Y PV-DR006L-SET-M/Y	河村電器産業計測機能内蔵型分電盤 (ホーム分電盤)	田淵電機蓄電ハイブリッドシステム	オムロンハイブリッド蓄電システム	三菱電機スマートメーター対応USB dongle HM-DG01-S
A	三菱電機エネルギー計測ユニット HM-EM03	○	×	○	○	○
	三菱電機太陽光発電システム用計測ユニット PV-DR006L-IFU-MRC-M/Y PV-DR006L-SET-M/Y	○	○	※1	※1	○
	河村電器産業計測機能内蔵型分電盤 (ホーム分電盤)	×	○	○	○	○
	田淵電機蓄電ハイブリッドシステム	○	※1	○	×	○
	オムロンハイブリッド蓄電システム	○	※1	○	×	○
	三菱電機スマートメーター対応USB Dongle HM-DG01-S	○	○	○	○	○

AとBの2機種併設

○：併設可 ×：併設不可

※1：併設している田淵電機蓄電ハイブリッドシステム、もしくはオムロンハイブリッド蓄電システムの太陽光発電量や蓄電池充放電量を三菱電機太陽光発電システム用表示ユニットでは正しく表示できません。出力制御に対応できません。

【三菱電機EV用パワーコンディショナとの併設可否早見表】

		三菱電機EV用パワーコンディショナとの併設	B					
			三菱電機エネルギー計測ユニット HM-EM03	三菱電機太陽光発電システム用計測ユニット PV-DR006L-IFU-MRC-M/Y PV-DR006L-SET-M/Y	河村電器産業計測機能内蔵型分電盤 (ホーム分電盤)	田淵電機蓄電ハイブリッドシステム	オムロンハイブリッド蓄電システム	三菱電機スマートメーター対応USB Dongler HMDG01S
A	三菱電機エネルギー計測ユニット HM-EM03	○	+	○	×	※2	※2	○
	三菱電機太陽光発電システム用計測ユニット PV-DR006L-IFU-MRC-M/Y PV-DR006L-SET-M/Y	○		○	※1 ※2 ※3	※1 ※2 ※3	○	
	河村電器産業計測機能内蔵型分電盤 (ホーム分電盤)	○		×	○	※2	※2	○
	田淵電機蓄電ハイブリッドシステム	※2 ※3		※2	※1 ※2 ※3	※2	×	※2
	オムロンハイブリッド蓄電システム	※2 ※3		※2	※1 ※2 ※3	※2	×	※2
	三菱電機スマートメーター対応USB Dongler HM-DG01-S	○		○	○	※2	※2	

EV-PCSとAとBの3機種併設
○：併設可　×：併設不可

- ※1：併設している田淵電機蓄電ハイブリッドシステム、もしくはオムロンハイブリッド蓄電システムの太陽光発電量や蓄電池充放電量を三菱電機太陽光発電システム用表示ユニットでは正しく表示できません。出力制御に対応できません。
- ※2：三菱電機EV用パワーコンディショナとオムロンハイブリッド蓄電システムもしくは田淵電機蓄電ハイブリッドシステムと併設するときの配線に関しては、三菱電機EV用パワーコンディショナの技術相談センター(TEL：0120-256-528)にご相談ください。
また、HEMSアプリの表示と各機器に搭載されているモニターとは表示が異なります。
- ※3：家全体の電力をHEMSで把握する場合には、三菱電機エネルギー計測ユニット、河村電器産業計測機能内蔵型分電盤、三菱電機スマートメーター対応USB Dongleのいずれかによる計測が必要となります。三菱電機エネルギー計測ユニット、河村電器産業計測機能内蔵型分電盤にて計測する場合は電力会社の電力量計直下の主幹回路をCTで計測してください。

据付工事 全体の流れ

準備	システムの設定を行う前の準備	(→22ページ)
	タブレット端末と情報収集ユニットの接続	(→28ページ)
	パソコンと情報収集ユニットの接続	(→30ページ)
↓		
ログイン	ログインする	(→31ページ)
	時刻設定	(→33ページ)
↓		
設置/接続	機器の設置方法／機器の接続方法	(→35ページ)
↓		
コントローラ設定	システム設定	(→37ページ)
↓		
機器設定	機器接続登録	(→41ページ)
	機器接続確認	(→48ページ)
	エネルギー計測機器の設定	(→51ページ)
↓		
引渡確認	クラウド接続確認	(→66ページ)
	リセット設定	(→67ページ)
	チェックリスト	(→68ページ)
	据付後の確認	(→70ページ)

準備

システムの設定を行う前の準備

警告

システム構成機器の据付けについては、各機器の据付工事説明書に記載されている「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、据付手順に従って据付けを行ってください。

- 電源電線の接続は確実に行う
接続部が過熱して発火する原因になります。
- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って第二種電気工事士の資格者が安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因になります。

システムの設定を行う前に、以下の項目について確認してください。

☐ システムの設定に必要なものがそろっていること

- ・ブラウザがインストールされているAndroid™タブレット端末(OSバージョン 4.4.*以上)またはWindowsパソコン

※スマートフォンやiOS®タブレット(iPad®)は設定作業に使用できません。

＜推奨ブラウザ＞

パソコン： Google Chrome™、Internet Explorer 11

Android端末： Google Chrome

※タブレット端末によっては、画面が正常に表示されないことがあります。

- ・ストレートタイプのLANケーブル(パソコン接続用)

☐ 各機器および有線LANアダプター/無線LANアダプター(HEMS用)が正しく据え付けられていること

※ 詳しくは、各機器の据付工事説明書をご覧ください。

☐ 三菱電機太陽光発電システム用計測ユニット(PV-DR006Lシリーズ)を接続する場合は、先に太陽光発電システム用計測ユニット(PV-DR006Lシリーズ)の設定が完了していること。運用種別の設定を「ネットワークあり」に設定していること。

※ 太陽光発電システム用計測ユニットの設定は、三菱電機太陽光発電システム カラーモニター エコガイドの据付工事説明書、取扱説明書を参照してください。

☐ 三菱電機エコキュートを接続する場合は、先にエコキュートの試運転が完了していること。台所用リモコンから、外部接続を「有効」に設定していること。

※ 詳細は、エコキュートの据付工事説明書、取扱説明書を参照してください。

- 三菱電機液晶テレビを接続する場合は、テレビリモコンから「家電連携設定」を「入(操作あり)」に設定していること。

※ 詳細は液晶テレビの取扱説明書(家電連携・HEMS編)を参照してください。

- 三菱電機EV用パワーコンディショナを接続する場合は、EV用パワーコンディショナのリモコンからLAN接続設定を「有効」、HEMS機種種別を「自社HEMS(三菱電機)」に設定していること。

※ 詳細はEV用パワーコンディショナの設定の据付工事説明書を参照してください。

- Android™、Google Chrome™は、Google LLC.の商標または登録商標です。
- Internet ExplorerおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-FiおよびWPSは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「エコーネット」、「ECHONET」、「ECHONET Lite」はエコーネットコンソーシアムの商標です。
- iPad®は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。TM and © 2018 Apple Inc. All rights reserved.
- iOS®の商標は、Ciscoの米国およびその他の国々のライセンスに基づき使用されています。

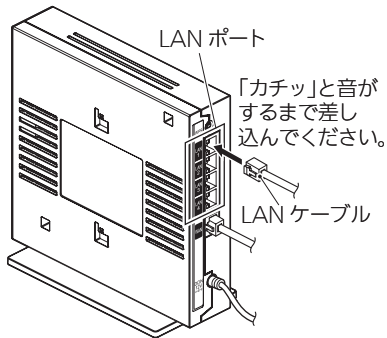
■ LANケーブルで機器を接続し登録する場合

LANケーブルで接続できる機器は、システム概要図をご覧ください。
(→4～5ページ)

- 必要な長さのLANケーブルをご用意ください。ストレートタイプのケーブルを使用してください。(カテゴリ：5e以上)
- 情報収集ユニットおよび各機器の電源を入れてください。

1 情報収集ユニットのLANポートに LANケーブルを差し込む

- LANケーブルで接続する機器が4台以上ある場合は、HUBを使用してください。
(IGMP非対応のHUBを使用してください)



情報収集ユニット

2 各機器にLANケーブルを接続する

<ランプ表示の一覧>

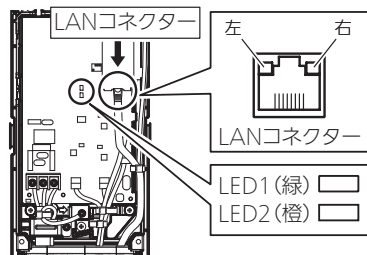
エネルギー計測ユニット(HM-EM03-E)と有線LAN基板のLANコネクターのランプ表示は、次のようになります。

【エネルギー計測ユニット(HM-EM03-E)のLANコネクター】

状態	左	右
LANケーブル非接続	消灯	消灯
LAN通信開始前	緑色に点灯	消灯
LAN通信時	緑色に点灯	橙色に点灯

【エネルギー計測ユニットのLED】

状態	LED1(緑)
有線LAN基板通信時	正常時、約1秒ごとに点滅。



エネルギー計測ユニット

【三菱電機製各機器の有線LANアダプター(エネルギー計測ユニット以外)】

状態	D705	D704	D703
LAN通信開始前	消灯	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)
LANケーブル非接続	消灯	橙色に点灯	緑色に点滅(5秒に1回)
LAN通信異常	消灯	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)
機器異常	—	消灯	消灯
通常時	緑色に点滅(5秒に1回) ^{※1}	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)

※1：2回連続して点滅

●有線LANアダプターのランプ表示位置(⇒26ページ)

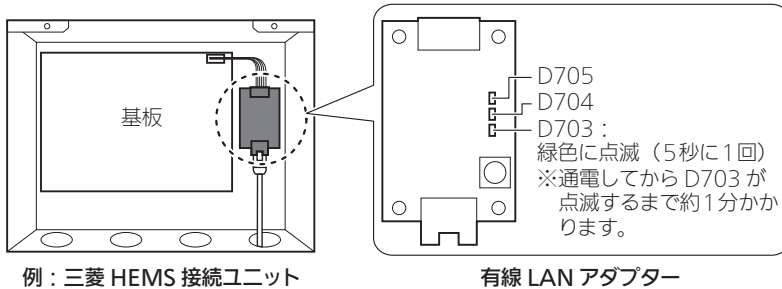
おしらせ

- 情報収集ユニットのWANポートには接続しないでください。
- 情報収集ユニットのLANポートには、三菱HEMSの各機器以外は接続しないでください。接続した場合、三菱HEMSアプリおよびHEMS・各機器の動作に支障をきたすことがあります。
- テレビはブロードバンドルーターに接続してください。
- テレビと情報収集ユニットを接続するときは、テレビ背面の「LAN1端子」と情報収集ユニットに接続されたブロードバンドルーターのLANポートにLANケーブルを接続してください。
- テレビを接続するときは、以下のように設定してください。
 - ・テレビのメニュー「設定」→「機能設定」→「家電連携設定」で「家電連携制御」を「入(操作あり)」または「入(操作なし)」にします。
 - ※設定すると、自動的に情報収集ユニットに接続してメニューが終了します。その後、「機能設定」メニューを表示すると、「家電連携設定」は「HEMS設定」という名称に切り替わります。
 - ・デジタル放送のアンテナを接続していないときは、テレビのメニュー「設定」→「初期設定」→「時刻設定」で現在時刻を設定します。一部の機種では設定できません。
- テレビで使用するIPアドレスはDHCPで自動設定されますので、DHCPでIPアドレスを取得できるようにテレビで設定してください。
- 情報収集ユニットの電源が切れたときや再起動されたあと、有線LANアダプター接続機器がHUBなどを經由して接続されている場合は、通信が不安定になることがあります。

情報収集ユニットを再起動したときは、情報収集ユニット再起動後にHUBなどの機器を再起動してください。
- 有線LANアダプターは、IGMP Snooping対応HUBとは接続できません。IGMP Snooping非対応のHUBを使用、もしくはIGMP Snoopingを無効にしてください。
- EV用パワーコンディショナを接続するときは、LANケーブルを接続後、情報収集ユニットを再起動してください。再起動しないと認識されません。
- 電動窓シャッターのワイヤレス通信機は型名により接続先が異なります。「HEMSシステム手配図」(⇒6ページ)をご確認ください。接続後はワイヤレス通信機を再起動してください。(ワイヤレス通信機背面のスイッチが有線LANに設定されていることをご確認のうえで接続してください。)ワイヤレス通信機のWPSボタンは使用しないでください。
- ワイヤレス通信機に登録されている電動窓シャッターは、ワイヤレス通信機と情報収集ユニットを接続することで、自動的に機器登録されます。

準備 (つづき)

- 各機器の有線LANアダプターのランプが、以下のとおりに点滅していること
(エネルギー計測ユニットは除く)

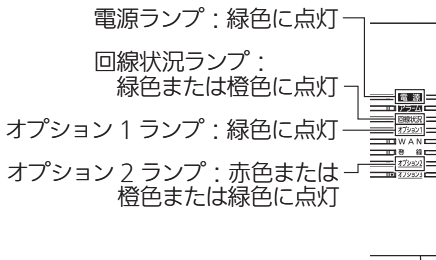


※ 詳しくは、<ランプ表示の一覧> (⇒24～25ページ) をご覧ください。

※ バス乾燥・暖房・換気システム用制御アダプターの場合は、カバーの窓からLEDの状態を確認できます。

※ 三菱HEMS接続ユニットの場合は、基板の上にカバーが付きます。

- 情報収集ユニットに電源アダプターのコードを接続し、電源アダプター(電源プラグ)を電源コンセントに接続し、電源を入れる
情報収集ユニットや各機器の無線LANアダプター(HEMS用)のランプが、以下の状態になってから次ステップに進む(以下の状態になるまで待つ)
 - 情報収集ユニット：オプション1ランプが緑色に点灯(通電してからオプション1ランプが点灯するまで約5～10分かかります)してから次ステップに進む



※ 詳しくは、<ランプ表示の一覧> (⇒45ページ) や情報収集ユニットの取扱説明書をご覧ください。

※ 回線状況ランプが赤色に点灯する場合は、「こんなときは」をご覧ください。
(⇒71ページ)

※ 電源を入れたあと、ソフトウェアの自動更新が開始(オプション3ランプが青点滅し、アラームランプが赤点灯)される場合があります。ソフトウェアの自動更新が完了(オプション3ランプが青点灯し、アラームランプが消灯)するまで電源を切らないでください。

- 無線LANアダプター(HEMS用)：ランプ1消灯、ランプ2消灯、ランプ3点滅(工場出荷状態から初めて起動すると約3分かかります)してから次ステップに進んでください

※機器によっては仕様が異なることがあります。



ランプ3：
緑色に点滅 (5秒に1回)

※通電してからランプ3が点滅するまで約3分かかります。
ランプ1、2、3が同時に点滅しているとき(初期化中)には、電源を切らないでください。
30秒以上ランプ1、2、3同時点滅が続く場合は無線LANアダプターの故障の可能性があります。

※詳しくは、<ランプ表示の一覧>(➡45ページ)や情報収集ユニットの取扱説明書をご覧ください。

※IHクッキングヒーターを据え付けたときは、ランプ表示の確認方法が異なります。
詳しくは、IHクッキングヒーター用無線LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。


作業中は、複数台のパソコン・タブレット端末から操作しないでください。
また、お客様にもアプリをご使用にならないようにご依頼ください。

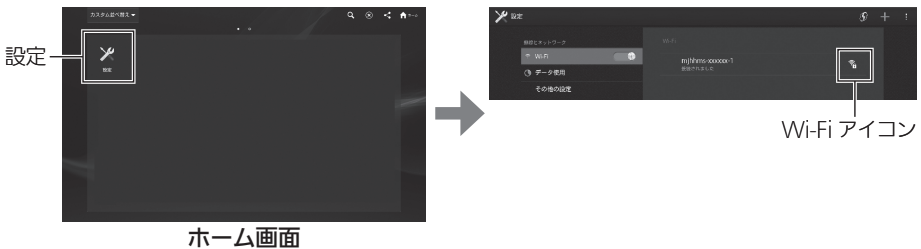
タブレット端末と情報収集ユニットの接続

タブレット端末(Android)で設定するときは、以下の方法で通信設定を行ってください。

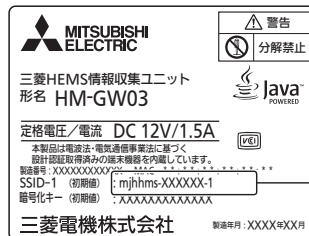
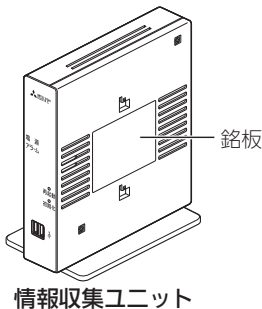
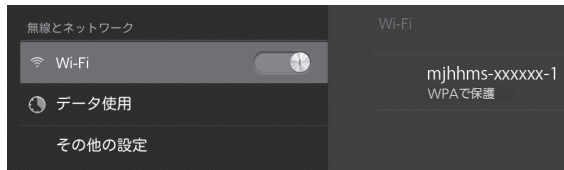
※タブレット端末により、表示が異なることがあります。

1 タブレット端末のホーム画面から「設定」>「Wi-Fi」を選択し、Wi-Fi欄を「ON」にする

- Wi-Fiアイコン()がネットワーク名の右側に表示されていることを確認してください。



- タブレットのネットワーク接続一覧に情報収集ユニットの铭板に記載されているSSIDが表示されていることを確認してください。

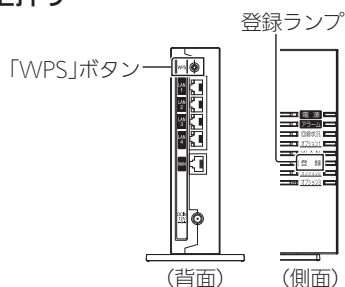


SSID

※タブレット端末では大文字が小文字に変換されて表示されることがあります。

2 情報収集ユニットの「WPS」ボタンを1秒以上押す

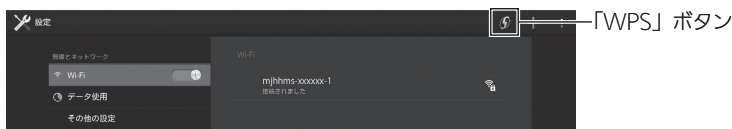
登録ランプが橙色に点滅します。



3 「WPS」ボタン(🔌)をタップする

接続が完了します。

- Androidバージョン5.0以降のWPS設定は、「Wi-Fi詳細設定」画面にあります。詳細はお持ちのタブレット端末の取扱説明書をご参照ください。



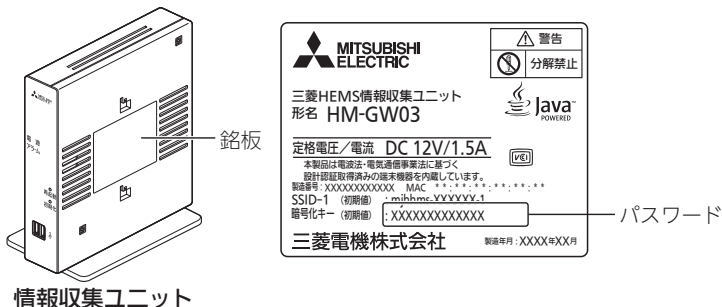
「WPS」ボタンがない場合(見つからない場合)

パスワードを入力する

- Wi-Fiアイコン(📶)が表示されていることを確認してください。



- パスワード欄には、情報収集ユニットの銘板に表示されている暗号化キーを入力してください。
(半角で入力してください)

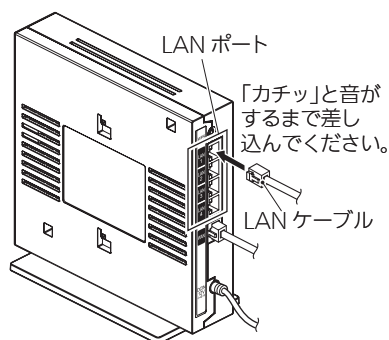


パソコンと情報収集ユニットの接続

パソコン(LANケーブルによる接続)で設定するときは、以下の方法で通信設定を行ってください。

- 必要な長さのLANケーブルをご用意ください。ストレートタイプのケーブルを使用してください。(カテゴリ：5e以上)

1 情報収集ユニットのLANポートにLANケーブルを差し込む



情報収集ユニット

2 パソコンにLANケーブルを接続する

おしらせ

- パソコンのIPアドレスはDHCPで自動設定されますので、DHCPでIPアドレスを取得できるようにパソコンで設定してください。
 - パソコンで無線LAN接続(Wi-Fi接続)するときは、パソコンの取扱説明書などを参考にして、情報収集ユニットとの通信設定を行ってください。
 - パソコンのブラウザでプロキシ設定している場合は、接続できません。
 - パソコンと無線LANまたは有線LANで接続する場合は、情報収集ユニット以外の通信はOFFにしてください。
例) 有線LANで情報収集ユニットに接続する場合は、無線LANをOFFにする。
- ※詳しくは、『据付工事説明書詳細編』「パソコン接続設定」をご覧ください。

ログイン

ログインする

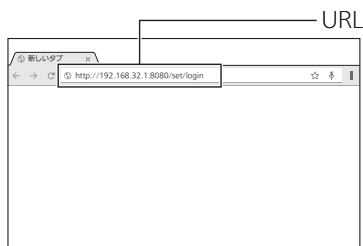
- オプション1ランプ(※)の点灯を確認してから作業を開始してください。情報収集ユニットの電源投入から、オプション1ランプが点灯するまで、約5～10分かかります。

1 ブラウザー(インターネット閲覧ソフト: Google Chrome または Internet Explorer)を起動する

過去に以下のURLを開いたことがある場合、過去の据付工事時のURL画像が再表示されないように過去にキャッシュされた画像とファイルを削除してください。(『据付工事説明書 詳細編』『パソコン接続設定』のブラウザー別設定確認(⇒96～114ページ))

2 以下のURLを入力し、ログイン画面を表示する

http://192.168.32.1:8080/set/login



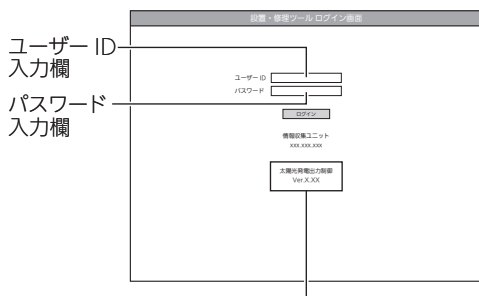
(※)インターネット閲覧ソフト: Google Chrome または Internet Explorer

- 2次元コードを使用してログイン画面を表示した場合、推奨ブラウザー(⇒22ページ)が起動していることを確認してください。

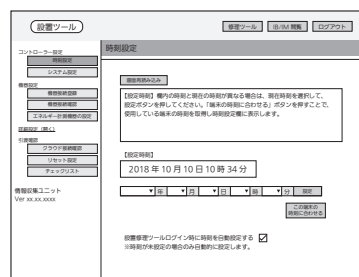
3 ユーザーIDとパスワードを入力し、「ログイン」をタップする

ユーザーIDとパスワードが認証されると、設置ツール画面が表示されます。

- 据付工事業者用のユーザーIDとパスワードは、半角英数字または記号で入力してください。(全角文字は無効です)
キーボード設定によってはログインできない場合があります。ログインできない場合は、入力にGoogleキーボードを使用してください。
ブラウザーでパスワードを記憶させないようにしてください。
- 何も操作しないで1時間以上経過するとログアウトします。再度ログインしてください。



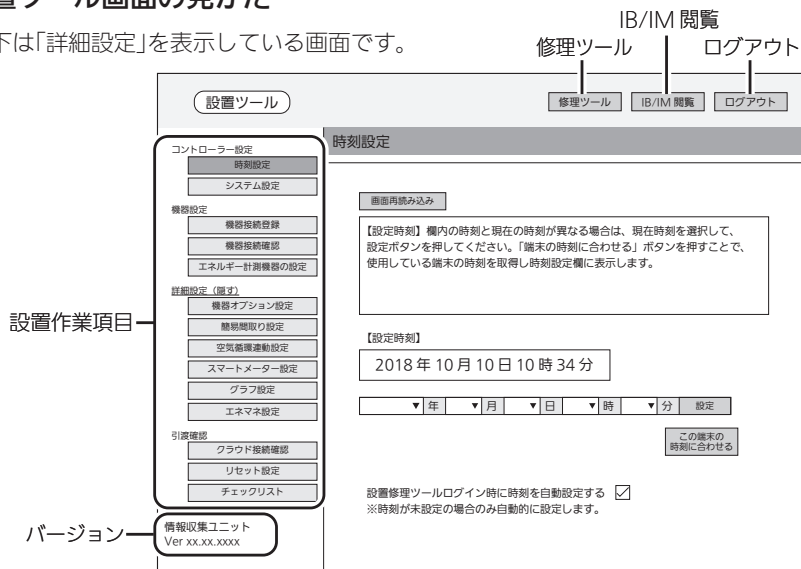
太陽光発電システムを接続しているときに表示されます。



設置ツール画面(⇒32ページ)

■ 設置ツール画面の見かた

※以下は「詳細設定」を表示している画面です。



● 設置作業項目

設置作業で設定する項目が表示されます。

初期状態では「詳細設定」の項目は隠れています。「詳細設定」右横の「開く」をタップすると表示されます。「詳細設定」では、接続された機器に対して行う特別な設定をしたり、ユーザーがタブレット端末用アプリやスマートフォン用アプリで行う設定を容易に行うことができます。

●「修理ツール」ボタン

メンテナンス時に使用します。

●「IB/IM閲覧」ボタン

取扱説明書/据付工事説明書を閲覧する画面が表示されます。

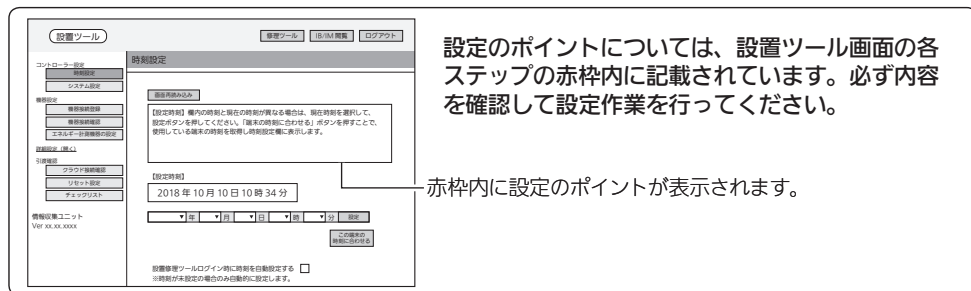
ブラウザの設定で“ポップアップウィンドウを許可”にしてください(『据付工事説明書 詳細編』をご参照ください)。

●「ログアウト」ボタン

ログアウトすると、ログイン画面に戻ります。

●バージョン

情報収集ユニットのバージョンを表示しています。



時刻設定

情報収集ユニットの日付・時刻を設定します。

- 情報収集ユニットがインターネットに接続されているときは自動的に設定されます。
日付・時刻情報が自動で取得できない場合は、「設置修理ツールログイン時に時刻を自動設定する」のチェックボックスを ☐ にして、手動で入力を行ってください。
- 日付・時刻を設定しないと正しく動作しないので、必ず設定してください。
情報収集ユニットの電源をOFFにすると設定時刻がクリアされます。電源をOFF(停電等を含む)にした場合は、再度日付・時刻を設定してください。

1 「時刻設定」をタップする

「時刻設定」画面が表示されます。

時刻設定画面のスクリーンショット。画面には「時刻設定」のタイトルと、日付・時刻の入力欄、自動設定のチェックボックスなどが表示されています。

時刻設定画面

2 設定する項目(年/月/日/時/分)を選択して、「設定」をタップする

「設定時刻」欄の表示が更新されます。

- 「この端末の時刻に合わせる」をタップすると、タブレット端末またはパソコンで設定されている時刻が時刻入力欄に表示されます。
- ブラウザーの種類によっては、設定を確認するポップアップが表示されます。「OK」をタップして進んでください。
- 正しい日付・時刻が表示されないときは、再度設定してください。
- 「設置修理ツールログイン時に時刻を自動設定する」にチェックを入れると、設置ツールにログインしたときに時刻が設定されていない場合に自動的に設定します。
- 「画面再読み込み」をタップすると、再度時刻設定画面が表示されます。時刻設定が完了すると、「画面再読み込み」の表示は消えます。

時刻設定画面のスクリーンショット。画面には「時刻設定」のタイトルと、日付・時刻の入力欄、自動設定のチェックボックスなどが表示されています。

画面再読み込み
設定時刻
設定
年/月/日/時/分
この端末の時刻に合わせる

設置修理ツールログイン時に時刻を自動設定する

おしらせ

- 日付・時刻が正しく設定されていないときや誤った日付・時刻を設定したときは、使用電力量が正確に記録されなかったり、正しく動作しなかったりすることがあります。
- お客様が使用するタブレット端末の日付・時刻を変更しても、情報収集ユニットの日付・時刻は変更されません。タブレット端末用「三菱HEMS」アプリから、情報収集ユニットの日付・時刻を設定できます。情報収集ユニットが、NTPサーバーと接続されていない場合は、アプリから日付・時刻を設定してください。NTPサーバーと接続されている場合は、アプリから日付・時刻を設定しないでください。
- 各機器を正しく動作させるために、各機器の時刻設定は、情報収集ユニットの日付・時刻に合わせてください。
- 太陽光発電システムを接続しており、電力会社指定のNTPサーバーと時刻同期済みの場合は、「電力サーバーと時刻が同期済みにつき、時刻設定できません。」と表示されます。この場合は、手動での時刻設定は不要です。

設置ツール 時刻設定 電圧監視 ログアウト

コントローラ設定
システム設定

情報収集
クラウド連携機能
リセット設定
デバイスリスト

時刻設定

時刻同期済みの場合

【設定時刻】 電圧が時刻と時刻が異なる場合は、時刻同期を強制して、設定ボタンを押してください。【時刻同期済みの場合】 時刻同期済みです。使用している端末の時刻を強制し時刻設定欄に表示します。

【設定時刻】
2018年10月10日10時34分

電力サーバーと時刻が同期済みにつき、時刻設定できません。

時刻同期済み
時刻同期済み

時刻同期済み
時刻同期済み

設置/接続

機器の設置方法／機器の接続方法

■ 機器の設置方法

各機器を設置します。

- 各機器の設置方法については、各機器の据付工事説明書をご覧ください。
各機器の据付工事説明書・技術マニュアルなどをWebで見することもできます。(⇒70ページ)
- 情報収集ユニットをインターネット回線に接続するときは、ブロードバンドルーターのLANポートと情報収集ユニットのWANポートをLANケーブルで接続してください。

■ 機器の接続方法

情報収集ユニットの設置ツールにログインします。(⇒31ページ)

その後、情報収集ユニットと各機器を接続します。

- 情報収集ユニットと各機器を接続する前に、各機器の電源を入れ、初期設定が完了していることを確認してください。詳しくは、各機器の据付工事説明書をご覧ください。
- 1台の情報収集ユニットに対して、合計で32機器まで設置することができます。

表の●の機器は、「詳細設定」での設定が必要な場合があります。

表の○の機器を複数組み合わせて使用する場合は「詳細設定」の「エネマネ設定」が必要になります。

三菱HEMS対応機種以外を接続した場合にも「エネマネ設定」が必要になります。

「詳細設定」については、『据付工事説明書 詳細編』を参照してください。

機器	機器数のカウント方法		
ルームエアコン	本体1台で1機器	●	
ハウジングエアコン	本体1台で1機器	●	
エコキュート	本体1台で1機器		
冷蔵庫	本体1台で1機器		
IHクッキングヒーター	本体1台で1機器		
エアフロー環気システム	本体1台で1機器	●	
ロスナイセントラル換気システム	本体1台で1機器		
ダクト用換気扇	本体1台で1機器		
カウンターアローファン	本体1台で1機器	●	
レンジフードファン	本体1台で1機器		
バス乾燥・暖房・換気システム	本体1台で1機器		
エコナクール	リモコン1台ごとに1機器		
テレビ	本体1台で1機器		
エアリゾート・ルームコントローラー (エアリゾート・センターコントローラー)	ルームコントローラー1台で1機器(※1)		
電動窓シャッター (ワイヤレス通信機)	シャッター1台で1機器(※2)		
パナソニック照明スイッチ (照明スイッチ用無線アダプタ)	照明スイッチ1回路で1機器(※3)		

概要

準備

ログイン

設置／接続

コントローラ設定

機器設定

引渡確認

対処

付録

設置/接続 (つづき)

機器	機器数のカウント方法		
パナソニックエアコン(Wi-Fi内蔵タイプ)	本体1台で1機器		
パナソニックエアコン パナソニックエコキュート (無線ゲートウェイ/メディアコンバーター)	本体1台で1機器(※4)		
ダイキンエアコン	本体1台で1機器		
エネルギー計測ユニット	本体1台で1機器		○
ホーム分電盤	本体1台で1機器		○
EV用パワーコンディショナ	本体1台で1機器		○
スマートメーター(※5)	本体1台で1機器	●	○
太陽光発電システム	本体1台で1機器		○
田淵電機蓄電ハイブリッドシステム	本体1台で1機器		○
オムロンハイブリッド蓄電システム	本体1台で1機器	●	○

※1：エアリゾート・センターコントローラーに接続可能なエアリゾート・ルームコントローラーの数は合計で最大10機器。

※2：ワイヤレス通信機に接続可能な電動窓シャッター本体の数は合計で最大32機器。

※3：照明スイッチ用無線アダプタに接続可能なパナソニック照明スイッチは最大20回路。

※4：無線ゲートウェイ/メディアコンバーターに接続可能なパナソニックエアコン本体とパナソニックエコキュート本体の数は合計で最大8機器。

※5：スマートメーター対応USB dongle(形名：HM-DG01-S、別売品)が必要です。

- 以下の機器は、1台の情報収集ユニットに接続可能な最大台数が設定されています。

機器	最大台数
三菱電機製エコキュート	本体：2台
電動窓シャッター (ワイヤレス通信機)	ワイヤレス通信機：1台
パナソニック照明 (照明スイッチ用の無線アダプタ)	照明用の無線アダプタ：1台
エネルギー計測ユニット(※6)	本体：2台
ホーム分電盤(※6)	本体：1台
EV用パワーコンディショナ(※7)	本体：1台
スマートメーター	本体：1台
太陽光発電システム	本体：1台
田淵電機蓄電ハイブリッドシステム(※7)	本体：1台
オムロンハイブリッド蓄電システム(※7)	本体：1台

※6：エネルギー計測ユニットとホーム分電盤は併設できません。

※7：EV用パワーコンディショナと、田淵電機蓄電ハイブリッドシステムまたはオムロンハイブリッド蓄電システムは併設できません。

- 各機器との接続方法については、各機器の技術マニュアルをWebで見ることができます。(→70ページ)

コントローラー設定

システム設定

お客様に引き渡すときに、引渡年月の入力と冬期間、買取方式の設定を行います。

1 「システム設定」をタップする

「システム設定」画面が表示されます。

- 別画面に遷移する場合は、「設定」ボタンにて設定を完了するか、または、「キャンセル」ボタンを押してください。

システム設定画面

2 「引渡年月入力」欄で引渡年月、「冬期間」欄で冬期間、「買取方式」で買取方法を選択する

- 「引渡年月入力」欄では、「年」、「月」をプルダウンメニューから選択します。
引渡年月はエンドユーザー様への引渡年月を入力してください。
- 「冬期間」欄では、「月」をプルダウンメニューから選択します。
設定された期間は、冬期換気量抑制などの機能が使われます。
「冬期間」の設定は、後日、エンドユーザー様が再設定することができます。「冬期間」が不明確の場合は、そのまま(デフォルト入力値のまま)設定してください。
- 「買取方式」欄では、太陽光発電の契約方式である「余剰買取」、「全量買取」のいずれかをプルダウンメニューから選択します。
太陽光発電がない場合、余剰買取を選択します。
※三菱電機太陽光発電システム用計測ユニット(エコガイド、IFU)が接続されている場合の買取方式は、三菱電機太陽光発電システム用計測ユニットの設定が優先されます。

余剰買取： 発電した電力から使用した電力を引いて余った電力のみを電力会社が買い取り

全量買取： 発電したすべての電力を電力会社が買い取り

概要

準備

ログイン

設置／接続

コントローラー設定

機器の設定

引渡確認

対処

付録

3 「設定」をタップする

- ブラウザーの種類によっては、設定を確認するポップアップが表示されます。「OK」をタップして進んでください。

一 設定

機器設定

機器名称

設置ツールに表示される機器の名称は以下のとおりです。

n, m は数字を表す

メーカー名	機器	「機器接続登録」画面上の登録機器名称	「機器接続確認」画面の機器名称
三菱電機	エネルギー計測ユニット	エネルギー計測ユニット n	エネルギー計測ユニット n
	ホーム分電盤	ホーム分電盤	ホーム分電盤
	エコキュート	エコキュート(給湯) n	エコキュート(給湯) n エコキュート(風呂) $n-m$
	ルームエアコン	エアコン n	エアコン n
	ハウジングエアコン	ハウジングエアコン n	ハウジングエアコン n
	冷蔵庫	冷蔵庫 n	冷蔵庫 n
	IHクッキングヒーター	IHクッキングヒーター n	IHクッキングヒーター n
	エアフロー環気システム	全館換気 n	全館換気 n 浴室換気 $n-m$
	ロスナイセントラル換気システム	全館換気ロスナイ n -(号機)	全館換気ロスナイ n -(号機)
	ダクト用換気	換気扇 n -(号機)	換気扇 n -(号機)
	カウンターアローファン	送風機 $n-m$ -(号機)	送風機 $n-m$ -(号機)
	レンジフードファン	キッチンの換気扇 n -(号機)	キッチンの換気扇 n -(号機)
	バス乾燥・暖房・換気システム	浴室暖房乾燥機 n	浴室暖房乾燥機 n
	エコヌクール	エコヌクール n	床暖房リモコン $n-m$ エコヌクール n
	テレビ	テレビ n	テレビ n
	EV用パワーコンディショナ	EV用パワコン n	EV用パワコン n
文化シャッター	電動窓シャッター (ワイヤレス通信機)	シャッター n あるいは シャッター n /他 m 台	シャッター n
パナソニック	照明(無線アダプタ)	照明 n あるいは 照明 n /他 m 台	照明 n
	エアコン (Wi-Fi内蔵タイプ)	家庭用エアコン n	家庭用エアコン n
	エアコン、エコキュート (無線ゲートウェイ/ メディアコンバーター)	家庭用エアコン n 、 電気温水器 n 、 あるいはXXX/他 m 台(※1)	家庭用エアコン n 、 電気温水器 n
オムロン	ハイブリッド蓄電システム	ハイブリッド蓄電システム	ハイブリッド蓄電システム
田淵電機	蓄電ハイブリッドシステム	蓄電ハイブリッドシステム	蓄電ハイブリッドシステム
ダイキン工業	エアコン	家庭用エアコン n	家庭用エアコン n

概要

準備

ログイン

設置／接続

コントローラ設定

機器設定

引渡確認

対処

付録

機器設定 (つづき)

n,mは数字を表す

メーカー名	機器	「機器接続登録」画面上の 登録機器名称	「機器接続確認」画面の 機器名称
その他 他社機器	スマートメーター	(機器接続登録画面に表示 なし)	(機器接続確認画面に表示 なし)
	蓄電池	蓄電池nあるいは 蓄電池n/他m台	蓄電池n
	太陽光発電	太陽光発電nあるいは 太陽光発電n/他m台	太陽光発電n
	エアコン	家庭用エアコンn	家庭用エアコンn
	エコキュート	電気温水器n	電気温水器n

※1：XXXには家庭用エアコン、あるいは電気温水器が入る。

機器接続登録

機器の接続／登録を行います。

有線LANまたは無線LANで情報収集ユニットまたはブロードバンドルーターと機器を接続してください。

接続先は「HEMSシステム 手配図と接続先図」をご覧ください。
(→6～7ページ)

■ 三菱電機製機器を有線接続する場合

各機器と情報収集ユニットを有線LANで接続します。

有線LAN機器は情報収集ユニットとLANケーブルで接続してください。

テレビはブロードバンドルーターに接続してください。詳細は、25ページの「おしらせ」をご覧ください。

有線LANで接続できる機器は、システム概要図をご覧ください。(→4～5ページ)

■ 他社機器を有線接続する

有線接続先は「HEMSシステム 手配図と接続先図」をご覧ください。
(→6～7ページ)

- パナソニック無線ゲートウェイ/メディアコンバーター(無線ゲートウェイからパナソニックエアコンおよびエコキュートを特小無線接続)と接続される場合は、パナソニックエアコンの本体設定で遠隔操作を許可「あり」に設定、パナソニックエコキュートの本体設定でHEMS設定を「入」に設定してから接続してください。本体設定の詳しい方法は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- パナソニック照明用アダプターと照明の接続がされていない場合(※1)は、パナソニック照明用アダプター取扱説明書に従って接続してください。
文化シャッター電動窓シャッターワイヤレス通信機と各シャッターの接続設定は、メーカー(文化シャッター)工場にて実施されます。接続設定されていない文化シャッター電動窓シャッターワイヤレス通信機をブロードバンドルーターまたは情報収集ユニットに接続しても登録できません(機器接続登録画面に現れません)。メーカーに各シャッターの接続を依頼してください。
- パナソニック無線ゲートウェイ/メディアコンバーターとパナソニックエアコン/エコキュートの接続がされていない場合(※1)は、パナソニックHEMSアダプター工事説明書または取扱説明書に従って接続してください。エアコンとエコキュートで接続方法が異なります。

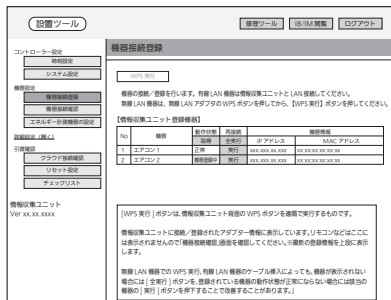
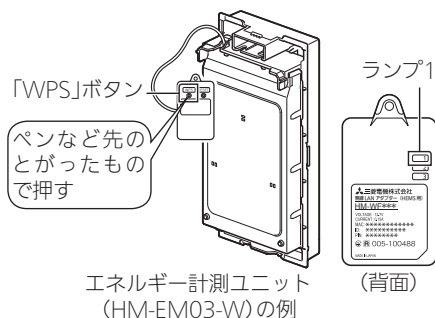
(※1)登録できないため、「機器接続登録」画面上で登録確認できません。先にエアコン/エコキュート/照明の接続を実施してください。

なお、複数台接続しても「機器接続登録」画面上では1台しか見えません。個々の接続確認は「機器接続確認」画面で確認してください。

4 無線LANアダプターの「WPS」ボタンをランプ1が点滅するまで押す(約2秒)

ランプ1が緑色に点滅します。

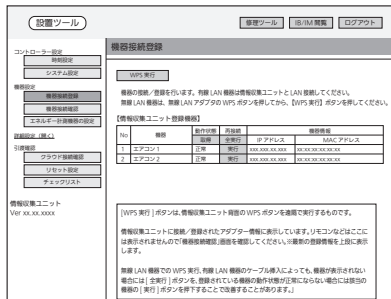
- 操作3を行ったあと、2分以内に操作してください。
- 「WPS」ボタンを10秒以上押すと、2分後にエラーになります。



WPS 実行中画面

5 無線LANの登録が完了したことを確認する

無線LANの登録が完了すると、右の画面が表示され登録した機器の名称が追加表示されます。



WPS 完了画面

情報収集ユニットと登録した無線LANアダプターのランプは、以下のように表示されます。

情報収集ユニットの登録ランプ： 橙色に点灯(10秒間)
無線LANアダプターのランプ1： 緑色に点灯(5秒間)後、5秒に1回点滅(2回連続して点滅)

になれば、設定完了です。

- 情報収集ユニットのアラームランプ： 赤色に点滅(10秒間)
無線LANアダプターのランプ2： 橙色に点灯(5秒間)
になったときは、2分以上たつてからもう一度、操作3からやり直してください。

登録ランプ



ランプ1、2



<ランプ表示の一覧>

情報収集ユニットと各機器の無線LANアダプターのランプ表示は、次のようになります。

【情報収集ユニット】

状態	電源ランプ	アラームランプ	オプション1ランプ	登録ランプ
WPS通信開始前 ※1	緑色に点灯	消灯	緑色に点灯	消灯
WPS通信中	緑色に点灯	消灯	緑色に点灯	橙色に点滅
WPS通信に成功	緑色に点灯	消灯	緑色に点灯	橙色に点灯(約10秒)
WPS通信に失敗 ※2	緑色に点灯	赤色に点滅(約10秒)	緑色に点灯	橙色に点滅(約10秒)

※1：電源を入れてから約5分経過後。

※2：約10秒後にWPS通信開始前の状態に戻ります。

※3：その他の情報収集ユニットのランプ表示については、情報収集ユニットの取扱説明書をご覧ください。

【各機器の無線LANアダプター】

状態	ランプ1	ランプ2	ランプ3
WPS通信開始前 ※4	消灯	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)
WPS通信中	緑色に点滅(1秒に1回)	消灯	消灯
WPS通信に成功	緑色に点灯(5秒間)	消灯	消灯
WPS通信に失敗	消灯	橙色に点灯(5秒間)	消灯
通常時(WPS通信完了後)	緑色に点滅(5秒に1回) ※5	消灯	緑色に点滅(5秒に1回)

※4：電源を入れてから約3分経過後。

※5：2回連続して点滅します。

■ 他社機器を無線接続する

無線接続先は「HEMSシステム 手配図と接続先図」をご覧ください。

(→6～7ページ)

- オムロンハイブリッド蓄電システムと接続される場合は、オムロンハイブリッド蓄電システム本体設定でHEMS設定を「あり」に設定してください。その後、無線接続してください(有線接続しないでください)。本体設定および無線接続の詳しい方法は、接続する機器の施工マニュアルおよび取説システム編をご覧ください。

カラー表示ユニットと計測ユニットの両方を無線接続してください。

- パナソニック エアコン 無線LAN内蔵モデルと接続される場合は、パナソニックエアコン本体設定で遠隔操作を「あり」に設定してから無線接続してください。
本体設定および無線接続の詳しい方法は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- ダイキンエアコンと接続される場合は、無線LAN接続アダプターの取扱説明書に従って接続してください。

※上記は2018年6月調査時点です。各メーカーの都合で変更される場合がありますので、各メーカーの施工マニュアルや取扱説明書などに従って設定してください。

■ 機器の接続と登録を確認する

接続されている機器の状態を一覧表示します。

- 部屋の扉を閉めるなど、お客様が実際に行う環境に合わせて接続確認を行ってください。

1 「機器接続登録」をタップする

情報収集ユニットに登録された機器の一覧が表示されます。また、状態を確認することができます。

設定ツール

取得ツール 設定/LAN接続 ログアウト

コントロール設定
機器設定
システム設定

機器接続登録

WPS実行

接続の確認/登録を行います。有線 LAN 接続は情報収集ユニットと LAN 接続してください。
有線 LAN 接続は、有線 LAN アダプタの WPS ボタンを押してから、【WPS 実行】ボタンを押してください。

【情報収集ユニット登録情報】

No.	機器名	種別	状態	MAC アドレス
1	エアコン 1	空調	実行	00:00:00:00:00:00
2	エアコン 2	空調	実行	00:00:00:00:00:00
3	テレビ 1	家電	実行	00:00:00:00:00:00
4	ホームサーバー	家電	実行	00:00:00:00:00:00

情報収集ユニット

Ver. 00.00.0000

【WPS 実行】ボタンは、情報収集ユニット側の WPS ボタンを連続で押すものです。
情報収集ユニットに接続/登録されたアダプタ一覧に非表示しています。リモコンなどはここには表示されませんので、接続確認後、再度を確認してください。3 番目の登録情報を上段に表示します。
有線 LAN 接続での WPS 実行、有線 LAN 接続のケーブル挿入によっても、機器が表示されない場合には【実行】ボタンを押して、登録されている機器の動作状態が正常にならない場合には接続の確認の【実行】ボタンを押すことで改善することがあります。

機器の接続と登録の状態確認画面

項目	内容
動作状態	各機器の動作状態が表示されます。
再接続	タップすると機器に再接続し、動作状態、IPアドレス、MACアドレスを再取得します。
IPアドレス	各機器に割り当てられたIPアドレスが自動で表示されます。
MACアドレス	各機器のMACアドレスが自動で表示されます。

2 リストに機器が表示されないときは、「全実行」をタップして、機器登録をしてください。

登録されるまで約1分半かかります。

- 登録後、「取得」をタップして接続された機器がリストに表示されていることを確認してください。
- ※情報収集ユニットの起動→設置ツールの立ち上げ→有線LAN機器の起動の順に操作すると、自動的に有線LAN機器が登録されます。

取得

全実行

3 30秒経過後、「取得」をタップする

情報収集ユニットが、各機器から動作状態の取得を行います。

- タップごとに、各機器の最新の情報が更新されます。
- 「再接続」欄の「全実行」をタップすると、すべての機器に対して再接続を行います。「実行」をタップすると、各機器に対して再接続を行います。状態が更新されるには、「全実行」ボタンタップ後、約1分半かかります。

取得

全実行

実行

お知らせ

- WPS通信に成功した機器が表示されない場合や動作状態欄に「通信異常」と表示される場合は、再度「取得」をタップしてください。
- ブロードバンドルーターに接続されている機器(テレビなど)が表示されない場合や動作状態欄に「通信異常」と表示される場合は、機器の電源のOFF/ONを行ってください。

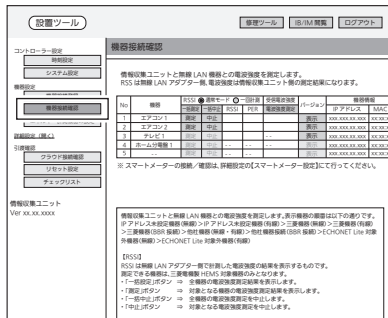
機器接続確認

情報収集ユニットと無線LAN機器との電波強度を測定します。

- RSSIは無線LANアダプター側、電波強度は情報収集ユニット側の測定結果が表示されます。
- ブロードバンドルーターと無線接続されている機器との電波強度は、ブロードバンドルーターや各機器の取扱説明書などで確認してください。

1 「機器接続確認」をタップする

「機器接続確認」画面が表示されます。

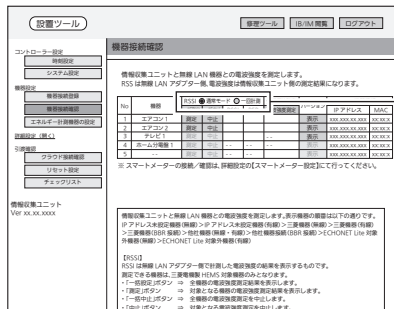


機器接続確認画面

2 計測モードを選択する

通常は「通常モード」に設定してください。

- 通常モード： 100回計測した平均値を表示します。
- 一回計測： 1回のみ計測した値を表示します。



計測モード

3 「一括測定」をタップする

RSSI/PERの測定を開始します。



一括測定 / 一括中止

測定 / 中止

- 自動でRSSI/PERの測定結果が色または数値で表示されます。
(接続されている台数によって時間が異なります。場合によっては約30秒以上かかることがあります。)

	緑色	黄色	赤色
RSSI (※1)	-75dBm以上	-75dBm～-85dBm	-85dBm未満
PER (※2)	5%未満	5%～10%	10%以上

※1：RSSI(Received Signal Strength Indicator)

受信した電波の強度を示す指標。

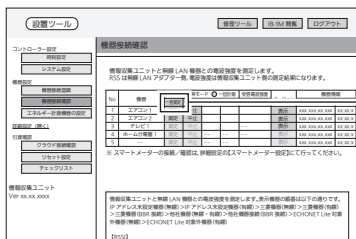
※2：PER(Packet Error Rate)

パケット誤り率。受信品質を示す指標。

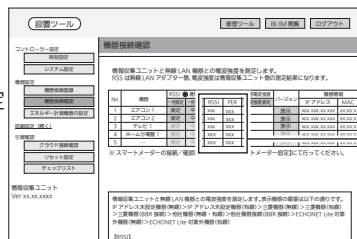
※3：有線LANで接続した機器については、「RSSI」欄には「-」、「PER」欄に「*」と表示されます。

RSSIの数値が緑色(-75dBm以上)であることを確認してください。

- RSSIの数値が黄色(-75dBm～-85dBm)または赤色(-85dBm未満)のときは、情報収集ユニットの向きや位置を変えてから、もう一度「一括測定」をタップしてください。
- 「ERR」と表示されたときは、機器の電源が入っているか、無線LANアダプターが正常に動作しているかを確認し、再度測定してください。
再度測定しても「ERR」の表示が消えない場合は、「ERR」と表示された機器に情報収集ユニットを近づけて再度測定してください。
- RSSIとPERの測定を中止するときは、「一括中止」をタップしてください。
- 機器ごとに個別に測定するときは、「測定」をタップしてください。(測定を中止するときは「中止」をタップしてください。)



一括測定

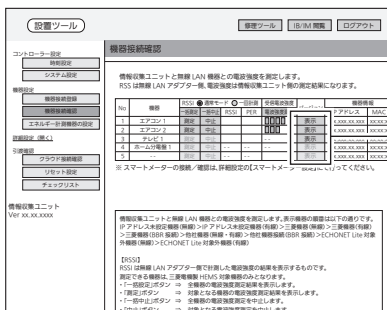


RSSI、
PER

4 「表示」をタップする

各機器のバージョン情報(機器情報)の別画面が表示されます。

- 無線LAN機器と有線LAN機器では表示される内容が異なります。
- 表示される別画面の「画面更新」をタップすると画面が最新状態に更新されます。RSSIとIT通信状態の変化を確認するときに使用します。



表示

機器設定 (つづき)

①無線LAN接続機器の場合

※表示内容は製品によって異なります。

機器情報

192.168.32.101/unitinfo

無線LAN接続機器

型名	HM-W1002
M16C Ver	01.00
OS1500M Ver	01.00
製造番号	1402260057
製造年月日	2014/02/26
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX
RSSI	-44
IT通信状態	正常
接続機器名称	エコキュート
接続機器型名	PJ37U
接続機器	09.05
製造番号	-
製造年月日	0000/00/00

画面更新

画面更新

項目	説明
「型名」から「MACアドレス」まで	無線LANアダプターの情報です。 この表示内容は一例で接続機器により変わります。
RSSI	Received Signal Strength Indicator (無線LANアダプターが)受信した電波の強度を示す指標。
IT通信状態	無線LANアダプターと接続機器間の通信状態
接続機器名称	無線LANアダプターと接続されている機器の情報
接続機器型名	
接続機器	接続機器(この例ではエコキュート)のソフトウェアバージョン
製造番号	無線LANアダプターと接続されている機器の情報
製造年月日	

②有線LAN接続機器の場合

※表示内容は製品によって異なります。

機器情報

192.168.32.101/unitinfo

有線LAN接続機器

型名	HM-E102
RX63N	1.00
製造年月日	2014/09/08
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX
IT通信状態	正常
接続機器名称	スマート環境システム 30
接続機器型名	HM-01C-D
接続機器	01.04
製造番号	-
製造年月日	-

画面更新

画面更新

項目	説明
「型名」から「MACアドレス」まで	有線LANアダプターの情報です。 この表示内容は一例で接続機器により変わります。
IT通信状態	有線LANアダプターと接続機器間の通信状態
接続機器名称	有線LANアダプターと接続されている機器の情報
接続機器型名	
接続機器	接続機器(この例ではスマート環境システム)のソフトウェアバージョン
製造番号	有線LANアダプターと接続されている機器の情報
製造年月日	

※ダクト用換気扇、レンジフードファン、カウンターアローファン、ロスナイセントラル換気システム
⇒「スマート環境システム」と表示されます。
※バス乾燥・暖房・換気システム ⇒「バス乾」と表示されます。

エネルギー計測機器の設定

①初期設定

- エネルギー計測ユニットとホーム分電盤は併設できません。
エネルギー計測ユニットとホーム分電盤が機器登録されている場合には「エネルギー計測ユニットの設定」画面が表示され、エネルギー計測ユニットを使用した計測となります。ホーム分電盤に内蔵されている計測機能を使用することはできません。

■ エネルギー計測ユニットの場合

- 同梱している「三菱HEMS エネルギー計測ユニット CT設定チェックシート」を使用して設定してください。
- 設定できる回路数は以下のとおりです。

機器名	回路数(最大)	1回路の設定に必要なCTの数
主幹	1	2
太陽光発電	4	1(※1)
外部発電機(※2)	1	1(※1)
蓄電池	1	2
蓄電池負荷	1	1(※1)
その他の機器(負荷)	16(※3)	1
ガス(※4)	1	
水道(※4)	1	

※1:CTを2個使用することもできます。

※2:外部発電機とは、エネファームやエコウィルなどを指します。

※3:エネルギー計測ユニット1台に接続できるCTの最大数は16個です。

主幹、太陽光発電、外部発電機、蓄電池に設定した場合は、その他の機器に使用できる台数は少なくなります。

※4:ガス・水道メーターは各1系統ずつ設定できます。

CTがなくても電力計測できる機器があります。

対象機器(機種)は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/hems>

- エネルギー計測ユニットが2台接続されている場合の操作方法 (⇒58ページ)

■ 計測機能内蔵型分電盤(ホーム分電盤)の場合

- ホーム分電盤に付属する『施工ガイドブック』の「設計シート」などに従い、設定してください。

機器名	台数(最大)	
主幹	1	
太陽光発電	4	
外部発電機(※1)	1	拡張計測ユニット
蓄電池	1	
その他の機器(負荷)	40	
ガス(※2)	1	パルス計測ユニット
水道(※2)	1	

※1:外部発電機とは、エネファームやエコウィルなどを指します。

※2:ガス・水道メーターは各1系統ずつ設定できます。

■ オムロンハイブリッド蓄電システムの場合

- メーカーの施工マニュアルなどに従い、オムロンハイブリッド蓄電システムの設定をしてください。
- ハイブリッド蓄電システム設定(「据付工事説明書 詳細編」→80～81ページ)に従い、情報収集ユニットの設定をしてください。
- 「オムロンハイブリッド蓄電システム」のみを設置される場合(エネルギー計測ユニットまたは計測機能内蔵型分電盤を設置しない場合)は、以下の作業は不要です。

CTごとに各項目を設定します。

● 接続されているエネルギー計測機器によって、ブレーカー設定の設定項目が異なります。

- 複数台の蓄電池がある場合は、共通の設定になります。

- 蓄電池
待機電力
- ブレーキ
設定

(ホーム分電盤の設定)

[illegible]

- The screenshot shows the 'Settings' (設定) page for the 'Enterprise Plan' (エンタープライズプラン). The page is divided into three main sections: 'General Settings' (全般設定), 'User Settings' (ユーザー設定), and 'System Settings' (システム設定). The 'General Settings' section includes 'Basic Information' (基本情報), 'User Settings' (ユーザー設定), and 'System Settings' (システム設定). The 'Basic Information' section shows the 'Company Name' (会社名) as '株式会社 〇〇〇' and the 'Email Address' (メールアドレス) as 'info@o-o-o.co.jp'. The 'User Settings' section shows the 'User Name' (ユーザー名) as 'admin' and the 'Email Address' (メールアドレス) as 'admin@o-o-o.co.jp'. The 'System Settings' section shows the 'Language' (言語) as '日本語' and the 'Time Zone' (タイムゾーン) as 'Asia/Tokyo'. The 'Basic Information' section also includes a 'Basic Information' (基本情報) button and a 'Basic Information' (基本情報) button. The 'User Settings' section includes a 'User Settings' (ユーザー設定) button and a 'User Settings' (ユーザー設定) button. The 'System Settings' section includes a 'System Settings' (システム設定) button and a 'System Settings' (システム設定) button. The page is titled 'エンタープライズプラン機能の設定 (エンタープライズプラン機能の設定)' and has a '設定' (Settings) button in the top right corner.

54

<CTの設定方法>

1. 「計測種別」を選択する

(エネルギー計測ユニットの設定)

設定項目	備考
「主幹」	CT1-1からCT4-2の間で設定してください。 ●「主幹」、「太陽光発電(CT2個)」、「外部発電機(CT2個)」および「蓄電池」はCTを2つ使用します。
「太陽光発電(CT1個)」	
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT1個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
「蓄電池」	CT1-1からCT8-2の間で設定してください。
「蓄電池負荷」	
「負荷」	

(ホーム分電盤の設定)

設定項目	備考
「太陽光発電」	追加計測ユニット1から追加計測ユニット7、CH1からCH40の間で設定してください。
「外部発電機」	
「蓄電池」	
「系統」	

「ブレーカー設定」

CT	計測種別	分岐ブレーカー名	名称任意設定	相線式
1-1	主幹 ▼	主幹 ▼		単相3線 ▼
1-2	主幹 ▼	主幹 ▼		単相3線 ▼
2-1	主幹 ▼	主幹 ▼		単相3線 ▼
2-2	主幹 ▼	主幹 ▼		単相3線 ▼
3-1	太陽光発電 (CT1個) ▼	太陽光発電 1 ▼		単相3線 ▼
3-2	太陽光発電 (CT2個) ▼	太陽光発電 1 ▼		単相3線 ▼
4-1	蓄電池 ▼	蓄電池 1 ▼		単相3線 ▼
4-2	蓄電池 ▼	蓄電池 1 ▼		単相3線 ▼
5-1	蓄電池 ▼	蓄電池 1 ▼		単相3線 ▼
5-2	蓄電池 ▼	蓄電池 1 ▼		単相3線 ▼
6-1	蓄電池負荷 ▼	蓄電池負荷 1 ▼		単相2線 ▼
6-2	蓄電池負荷 ▼	蓄電池負荷 1 ▼		単相2線 ▼
7-1	負荷 ▼	エアコン 1-CT ▼		単相2線 ▼
7-2	負荷 ▼	エアコン 1-CT ▼		単相2線 ▼

「ブレーカー設定」

計測チャンネル	計測種別	分岐ブレーカー名	名称任意設定
主幹	—	—	—
追加計測ユニット1	太陽光発電 ▼	太陽光発電 1 ▼	
追加計測ユニット2	外部発電機 ▼	外部発電機 2 ▼	
追加計測ユニット3	蓄電池 ▼	蓄電池 3 ▼	
追加計測ユニット4	系統 ▼	系統 4 ▼	
追加計測ユニット5	系統 ▼	系統 4 ▼	
追加計測ユニット6	太陽光発電 ▼	任意入力 ▼	ソーラー
追加計測ユニット7	外部発電機 ▼	任意入力 ▼	燃料
CH1	系統 ▼	CT-CH2 ▼	
CH2	系統 ▼	CT-CH2 ▼	
CH3	系統 ▼	CT-CH3 ▼	
CH4	系統 ▼	任意入力 ▼	CH4
CH5	系統 ▼	任意入力 ▼	

2. 「分岐ブレーカー名」を選択する

(エネルギー計測ユニットの設定)

計測種別	設定項目
「主幹」	「主幹」が自動で選ばれます。
「太陽光発電(CT1個)」	「太陽光発電1」～「太陽光発電4」、「発電機1」～「発電機4」から選んでください。
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT1個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
蓄電池	「蓄電池1」～「蓄電池4」から選んでください。
蓄電池負荷	「蓄電池負荷1」～「蓄電池負荷4」から選んでください。
負荷	系統、エアコン、エコキュート、エコヌクール、クッキングヒータ、冷蔵庫、テレビ、換気扇から選んでください。 系統および各機器は、1～10まで選択できます。

(ホーム分電盤の設定)

計測種別	設定項目
「太陽光発電」	「太陽光発電○」が自動で選ばれます。
「外部発電機」	「外部発電機○」が自動で選ばれます。
「蓄電池」	「蓄電池○」が自動で選ばれます。
「系統」	系統○、CT-CHO、リビングのエアコン、LDKのエアコン、寝室のエアコン、洋室1のエアコン、洋室2のエアコン、洋室3のエアコン、洋室4のエアコン、和室のエアコン、全館空調、エコキュート、IHクッキングヒーター、食洗機、屋外コンセント(200V)から選んでください。

※「任意入力」を選択したときは、「名称任意設定」欄に名称を入力してください。(全角10文字以内)

※「分岐ブレーカー名」は、お客様が使用するアプリの「グラフ表示設定」に使用します。
実際の分電盤にラベルがある場合は、「分岐ブレーカー名」をラベルと合わせてください。

※お客様がアプリの「グラフ表示設定」でグラフに表示する名称を変更された場合は、「分岐ブレーカー名」の変更が反映されません。

3. 「相線式」から「単相3線」または「単相2線」を選択する(エネルギー計測ユニットの設定のみ)

計測種別	設定項目
「主幹」	「単相3線」が自動で選ばれます。
「太陽光発電(CT1個)」	
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT1個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
蓄電池	「単相3線」「単相2線」から選んでください。 ●「単相3線」を選んだときは、CTを2つ使用します。 ●「単相2線」を選んだときは、CTを1つ使用します。
蓄電池負荷	
負荷	「単相2線」が自動で選ばれます。

4. 「CT種別」から取り付けたCTを選択する(エネルギー計測ユニットの設定のみ)

計測種別	設定項目
「主幹」	「CT黒大」が自動で選ばれます。
「太陽光発電(CT1個)」	「CT黒大」「CT白」から選んでください。
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT1個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
蓄電池	
蓄電池負荷	「CT黒大」「CT白」「CT黒小」から選んでください。
負荷	

5.「電圧」をブレーカーに応じて選択する

(エネルギー計測ユニットの設定)

計測種別	設定項目
「太陽光発電(CT1個)」	「200V」が自動で選ばれます。
「外部発電機(CT1個)」	
「主幹」	「L1-100V」「L2-100V」が自動で選ばれます。
「太陽光発電(CT2個)」	
「外部発電機(CT2個)」	
蓄電池	
蓄電池負荷	
負荷	「L1-100V」「L2-100V」「200V」から選んでください。

(ホーム分電盤の設定)

計測チャンネル	設定項目
追加計測ユニット1～7	電圧は取得できません。「ー」を表示します。
CH1～CH8	ホーム分電盤から取得した各CHの電圧を表示します。
CH9～CH40	100V固定です。「ー」を表示します。

3 「ガス・水道メーター設定」欄で各項目を設定する

以下の項目について、プルダウンメニューから選択します。

(エネルギー計測ユニットの設定)

- **使用状況：** 使用／未使用
「使用」を選択している場合は、「流量(l ／パルス)」の値を入力してください。
- **流量(l ／パルス)：** 数値を入力します。
「流量(l ／パルス)」の値は、使用するメータの仕様を確認してください。

(ホーム分電盤の設定)

- **使用状況**： 未使用／系統1-1／系統1-2／系統2-1／系統2-2
「未使用」以外を選択している場合は、「流量(l ／パルス)」の値を入力してください。
ホーム分電盤では、一般的にガス：「系統1-2」、水道：「系統1-1」を選択します。実際に
使用して確認してください。
- **流量(l ／パルス)**：数値を入力します。
「流量(l ／パルス)」の値は、0.0001～99999の範囲で入力できます。

[illegible]

ガス・水道メーター設定

[illegible]

(ホーム分電盤の設定)

4 「設定」をタップする

確認メッセージが表示されるので、「OK」をタップします。

- 分岐ブレーカー名で重複した名称を設定したり、「任意入力」を選択していて入力がない（空白やスペース）ときは、警告メッセージが表示されます。

正しく設定してください。

[illegible]

(エネルギー計測ユニットの設定)

[illegible]

(ホーム分電盤の設定)

エネルギー計測ユニットが2台接続されている場合

エネルギー計測ユニット(2台目)の設定を行う

- 「エネルギー計測ユニットの2台目の設定画面へ」をタップして、1台目と同様に設定してください。(➡51～57ページ)
- 主幹、太陽光発電、発電機、蓄電池、蓄電池負荷は1台目のエネルギー計測ユニットに設定してください。

[illegible]

エネルギー計測ユニットの2台目の設定画面へ

②動作確認

- エネルギー計測ユニットでの動作確認を説明をします。ホーム分電盤でも同様に動作確認をしてください。詳しくは、ホーム分電盤の施工ガイドをご覧ください。

1. CT接続の確認

以下の項目を点検してください。

不具合がありましたら、必ず直してください。(機能が発揮されません)

- ☐ 各機器が正常に動作していること
- ☐ 系統連系(逆潮流)可能であること

※系統連系不可能である場合には太陽光発電用ブレーカー操作を行わずエネルギー計測ユニットの据付工事説明書に従い、CT(太陽光発電用)の向きを目視で確認してください。

<瞬時値の符号について>

計測種別	瞬時値符号
主幹	買電中：正の値／売電中：負の値
発電機(太陽光など)	発電中：正の値
蓄電池	充電中：正の値／放電中：負の値
蓄電池負荷	動作中：正の値
負荷	動作中：正の値

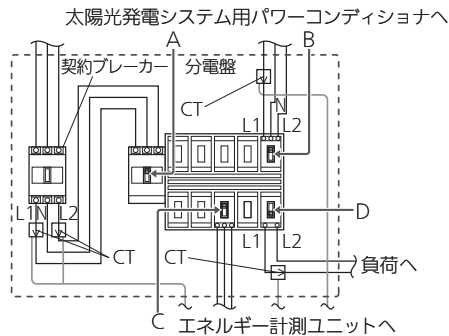
・設定例

□ エネルギー計測ユニットのCTが正しく取り付けられているかを以下の方法で確認すること
※太陽光発電システムが発電できる状態(日中の晴天時あるいは曇天時)で実施してください。

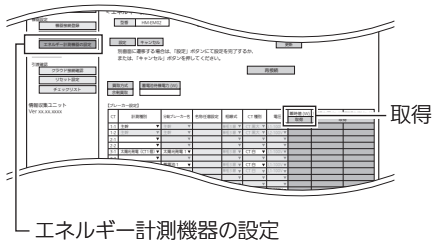
■ CT(主幹用)の取付を確認する場合

①各ブレーカーを以下のように設定する

- A. 主電源漏電ブレーカー : ON
主電源のため、ONで固定
- B. 太陽光発電用ブレーカー : OFF
- C. エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON
CTの取付方向を確認するため、ONで固定
- D. 負荷用分岐ブレーカー(200V) : OFF
※使用していない機器の電源をOFFにしてください。
(情報収集ユニットを除く)



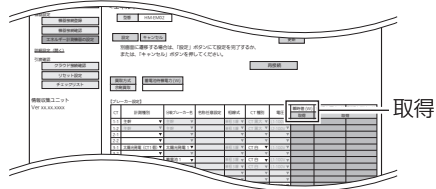
②「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



③200Vの負荷用分岐ブレーカー(D)を ONにする

④負荷用分岐ブレーカー(D)に接続されている機器を運転する

⑤約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



⑥瞬時値(単位：W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1：－(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

+ 表示 → + 表示 (増加)

【ブレーカー設定】

CT	計測種別	分岐ブレーカー名	電圧	瞬時値 (W)
1-1	主幹	主幹	L1-100V	50
1-2	主幹	主幹	L2-100V	50
2-1	太陽光発電 (CT1 個)	太陽光発電 1	L1-100V	0
2-2				
2-3				

0 (固定)

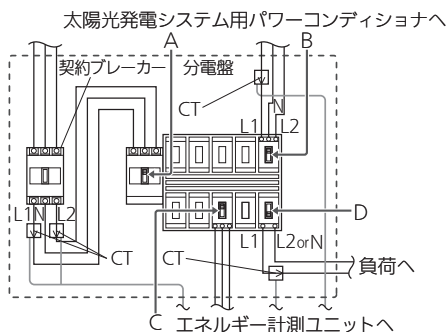
主幹が－(マイナス)表示となった場合

- ① CTの向きが間違っていないか確認してください。
- ② エネルギー計測ユニットとエネルギー計測ユニット用ブレーカー間の配電ケーブルのL1相接続とL2相接続を互い違いに接続していないか確認してください。
- ③ L1相接続用CTとL2相接続用CTを互い違いに接続していないか確認してください。
- ④ 太陽光発電用ブレーカーがOFFになっているか確認してください。
- ⑤ エネルギー計測ユニットの電源ケーブルのL1とL2が互い違いに接続をされていないか確認してください。分岐ブレーカーの種類、取付位置によって接続箇所のL1,N,L2の並び順は異なります。

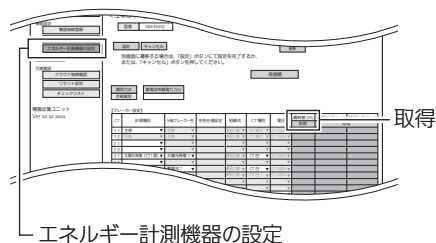
■ CT(負荷用)の取付を確認する場合

①各ブレーカーを以下のように設定する

- A. 主電源漏電ブレーカー : ON
主電源のため、ONで固定
- B. 太陽光発電用ブレーカー : OFF
- C. エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON
CTの取付方向を確認するため、ONで固定
- D. 負荷用分岐ブレーカー : OFF
※使用していない機器の電源をOFFにしてください。
(情報収集ユニットを除く)



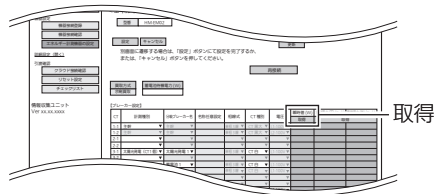
②「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



③負荷用分岐ブレーカー(D)を ONにする

④負荷用分岐ブレーカー(D)に接続されている機器を運転する

⑤ 約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



⑥ 瞬時値(単位：W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1：－(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

※2：同じ電力値分だけ増加します。

②～⑥の変化幅は主幹と負荷量とも同じです

※3：負荷(单相2線)の瞬時値には－(マイナス)の数値は表示されません。

+ 表示 → + 表示 (増加)※2

【ブレーカー設定】

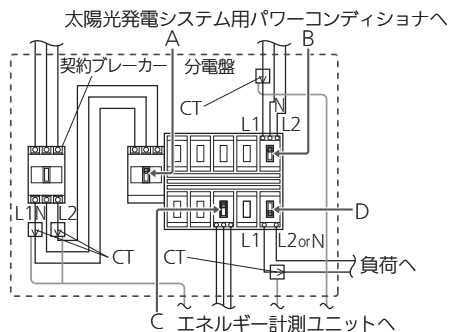
CT	計測種別	分岐ブレーカー名	電圧	瞬時値 (W) 取得
1-1	主幹	主幹	L1-100V	50
1-2	主幹	主幹	L2-100V	50
2-1				
6-1				
6-2				
7-1	負荷	エアコン1-CT	200V	25
7-2				

0 → + 表示 (増加)※2

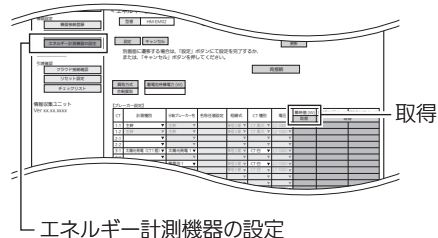
■ CT(太陽光発電・発電機用)を1個接続したときの取付を確認する場合

① 各ブレーカーを以下のように設定する

- A. 主電源漏電ブレーカー : ON
主電源のため、ONで固定
 - B. 太陽光発電(発電機)用ブレーカー : OFF
 - C. エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON
CTの取付方向を確認するため、ONで固定
 - D. 負荷用分岐ブレーカー : OFF
- ※使用していない機器の電源をOFFにしてください。
(情報収集ユニットを除く)



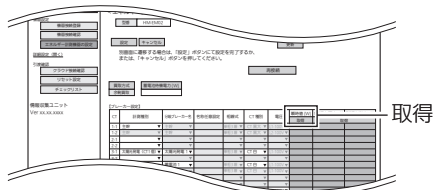
② 「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



③太陽光発電(発電機)用ブレーカーをONにする

太陽光発電システム(発電機)が発電を開始していることを確認してください。

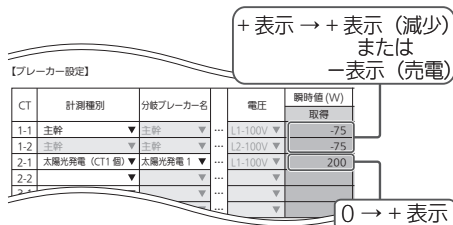
④約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



⑤瞬時値(単位：W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1：－(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

※2：エネルギー計測ユニット(主幹)の－(マイナス)は、エネルギー計測ユニット(太陽光発電)の電力値以上にマイナスになることはありません。



画面例) 太陽光発電の場合

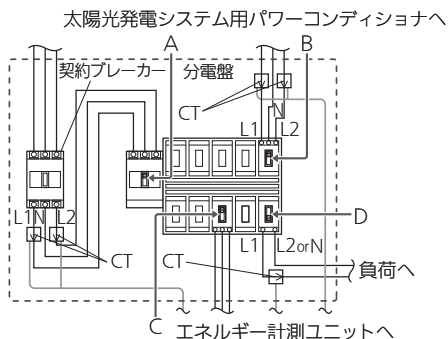
太陽光発電(発電機)が－(マイナス)表示となった場合

- ① CTの向きが間違っていないか確認してください。
- ② L1相接続用CTを間違えてL2相接続用に取り付けていないか確認してください。

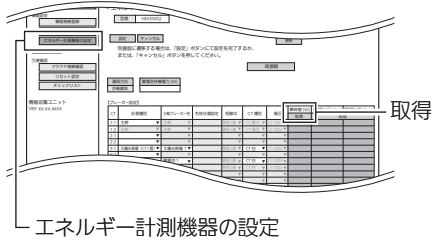
■ CT(太陽光発電・発電機用)を2個接続したときの取付を確認する場合

①各ブレーカーを以下のように設定する

- 主電源漏電ブレーカー : ON
主電源のため、ONで固定
- 太陽光発電(発電機)用ブレーカー : OFF
- エネルギー計測ユニット用ブレーカー : ON
CTの取付方向を確認するため、ONで固定
- 負荷用分岐ブレーカー : OFF
※使用していない機器の電源をOFFにしてください。
(情報収集ユニットを除く)



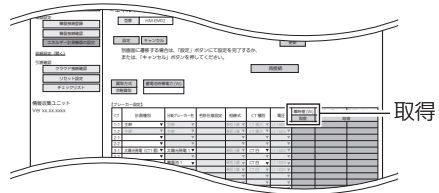
- ②「エネルギー計測機器の設定」をタップしてから約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



- ③太陽光発電(発電機)用ブレーカーをONにする

太陽光発電システム(発電機)が発電を開始していることを確認してください。

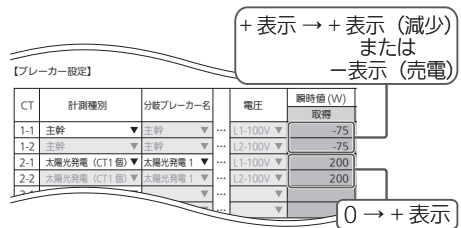
- ④約1分後、「瞬時値」欄の「取得」をタップする



- ⑤瞬時値(単位: W)が条件を満たしているかどうかを確認する

※1: -(マイナス)の数値になった場合は、赤く表示されます。

※2: エネルギー計測ユニット(主幹)の-(マイナス)は、エネルギー計測ユニット(太陽光発電)の電力値以上にマイナスになることはありません。



画面例) 太陽光発電の場合

太陽光発電(発電機)が-(マイナス)表示となった場合

- ① CTの向きが間違っていないか確認してください。
- ② L1相接続用CTとL2相接続用CTを互い違いに接続していないか確認してください。

2. ガス・水道メーターの動作確認

①ガス・水道の使用量を確認する

2-2	▼	マ	マ				
3-1	▼	マ	マ				

【ガス・水道メーター設定】

メーター	使用状況	流量L/パルス	入力範囲	換算倍	
				換算倍	単位
ガス	使用 ▼	10	0.0001 ~ 99999		
水道	使用 ▼	1	0.0001 ~ 99999		

②「積算値」欄の「取得」をタップする

Figure 1-10: Gas and Water Meter Setting

③水道から水を出す／ガスを使用する

④約1分後、「積算値」欄の「取得」をタップする

取得

⑤「流量 Q ／パルス」が条件を満たしているかどうかを確認する
使用している分だけ増加します。

67%	燃費効率	燃費効率	燃費効率	燃費効率
2.2	▼	W	W	
3.1	→	W	W	

【ガス・水道メーター検定】

メーター	使用状況	高量 / パルス	入力範囲	検算値 取得
ガス	使用 ▼	10	0.0001 ~ 999999	20
水道	使用 ▼	1	0.0001 ~ 999999	2

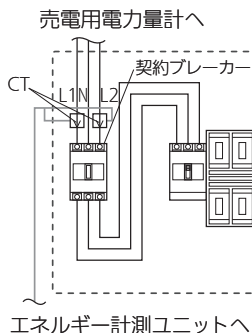
全量買取の場合のCT取付について

全量買取の場合は必ず以下に従ってCTの取り付け、および施工を行ってください。

- 全量買取でご使用の場合は、対応した情報収集ユニットのバージョンをお使いください。情報収集ユニットのバージョン「001.001.100」以降が対応しております。バージョンの末尾の数字が「100」以降であることをご確認ください。
- 全量買取でご使用の場合は、売電メーター系統と買電メーター系統が同一トランス配下の系統であることをご確認ください。系統が異なる場合は、売電メーター系統用のエネルギー計測ユニットと買電メーター系統用のエネルギー計測ユニットの2台を設置する必要があります。その場合は、売電メーター系統用のエネルギー計測ユニットには、太陽光発電の電力計測以外には使わないでください。
- 本製品を全量買取でご使用の場合は、全量買取制度に従った施工をしてください。

- 全量買取でご使用の場合は、売電メーター系統と買電メーター系統が同一トランス配下の系統であることをご確認ください。系統が異なる場合は、売電メーター系統用のエネルギー計測ユニットと買電メーター系統用のエネルギー計測ユニットの2台を設置する必要があります。その場合は、売電メーター系統用のエネルギー計測ユニットには、太陽光発電の電力計測以外には使わないでください。

- 本製品を全量買取でご使用の場合は、全量買取制度に従った施工をしてください。



- CTが2個の場合は、L1/L2にそれぞれ同様にCTを取付けてください。

引|渡確認

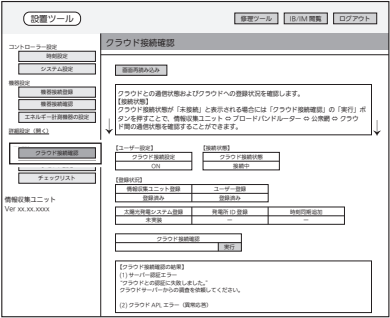
クラウド接続確認

クラウドへの登録状況および通信状態を確認します。

1 「クラウド接続確認」をタップする

「クラウド接続確認」画面が表示されます。

- クラウド接続状態が「未接続」と表示される場合は、クラウド接続確認の「実行」をタップしてください。クラウドとの通信状態を確認することができます。



クラウド接続確認画面

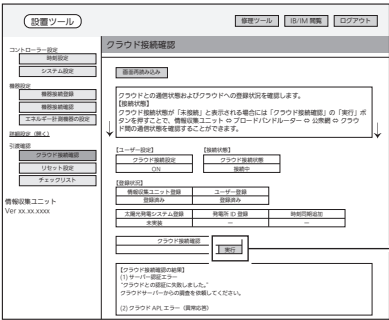
	項目	内容
ユーザー設定	クラウド接続設定	ON/OFF
接続状態	クラウド接続状態	接続中/未接続(※1)
登録状況	情報収集ユニット登録	登録済み/未登録(※1)
	ユーザー登録	登録済み/未登録(※1)
	太陽光発電システム登録	未実装/登録/未登録
	発電所ID登録	ー/登録/未登録
	時刻同期	ー/同期/非同期

※1： 情報収集ユニットとクラウドとを接続し、お客様のタブレットでユーザー登録を完了すると、「クラウド接続状態」は「接続中」、「情報収集ユニット登録」と「ユーザー登録」は「登録済み」となります。

2 「実行」をタップする

クラウドとの通信状態を確認することができます。

- クラウド接続状態が「未接続」と表示される場合に行うとクラウドとの通信状態を確認できます。



実行

項目	内容
クラウド接続確認	クラウド接続は正常に動作しています。(※2)

※2： 接続エラーになった場合の表示(→73ページ)

リセット設定

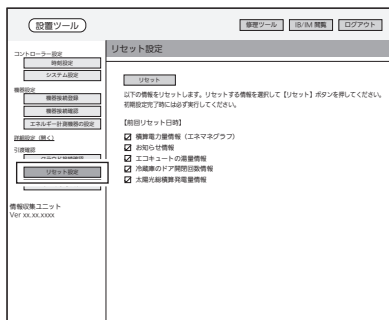
お客様へ引き渡す前に設置工事で積算された電力量とお知らせをリセットします。

● 次の情報がリセットされます。

積算電力量/お知らせ/エコキュートの湯量/冷蔵庫のドア開閉回数/太陽光総積算発電量

1 「リセット設定」をタップする

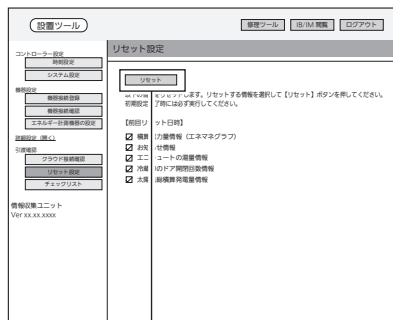
「リセット設定」画面が表示されます。



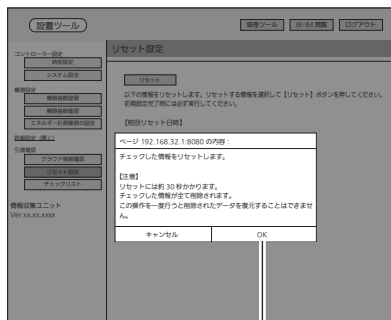
リセット設定画面

2 リセットする情報のチェックボックスにチェックを入れて、「リセット」をタップする

確認メッセージが表示されますので、「OK」をタップします。



リセット



OK

チェックリスト

設置ツールの各設定の設定状況および更新日時、異常機器の有無を確認します。

1 「チェックリスト」をタップする

「チェックリスト」画面が表示されます。

以下の設定項目については、設定項目および更新日時が最新の状態になっているかどうかをご確認ください。

設定項目	確認事項	参照ページ
時刻設定	設定された時刻	33
システム設定	引渡年月 冬期間設定 更新日時 買取方式	37
機器接続確認	接続機器数 機器状態	48
エネルギー計測機器の設定	各エネルギー計測ユニットの設定内容 ・CTの数 ・ガス、水道の設定項目 ・更新日時	51
機器オプション設定	設定 更新日時	※
簡易間取り設定	建築物 部屋数 機器割付数 更新日時	※
リセット設定	前回のリセット日時	67
クラウド接続確認	情報収集ユニット登録 ユーザー登録 太陽光発電システム登録 発電所ID 時刻同期	66

設定項目
機器異常一覧
結果
「詳細」ボタン

チェックリスト画面

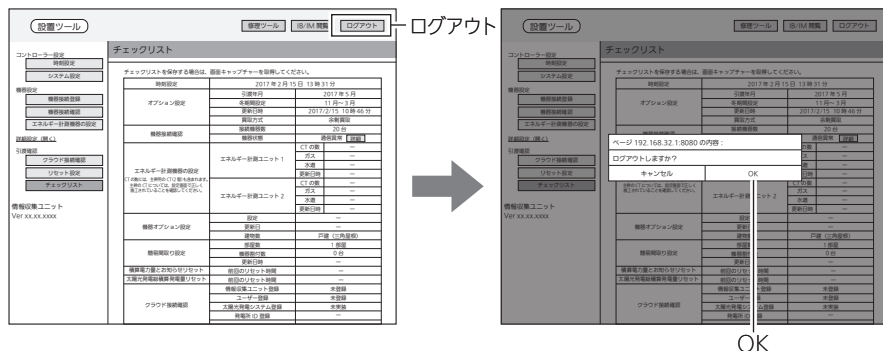
- 「機器状態」が機器異常または通信異常の場合、「詳細」ボタンが表示されます。「詳細」ボタンをタップすると「機器異常一覧」が表示されます。

「機器異常一覧」には、機器異常または通信異常の機器が表示されます。

異常のあった機器については、正しく接続されているかご確認ください。

(※)「機器オプション設定」「簡易間取り設定」については、『詳細編』をご参照ください。

2 「ログアウト」をタップしてログアウトしてから、ブラウザの画面を閉じる 「OK」をタップすると、ログアウトします。



据付後の確認

□の中に✓印をいれて確認してください。確認後、この据付工事説明書をお客様にお渡しください。

□ 据付後にタブレット端末またはパソコンと情報収集ユニットのWi-Fi接続を切断しましたか？

※お客様の情報収集ユニットに接続できなくなることを確認してください。

□ お客様への説明

- ・別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様にご説明してください。
- ・製品に同梱している保証書も必ずお客様へお渡しください。

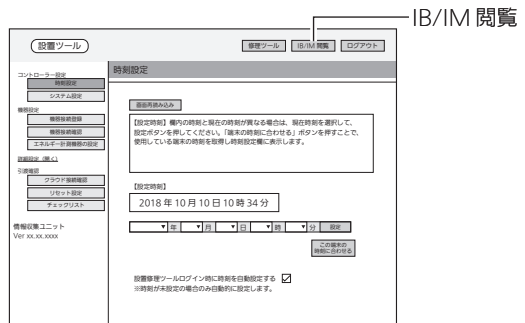
■ 技術マニュアルをWebで見る

機器の設置方法や機器との接続方法が記載された技術マニュアルを「WIN²K」で見ることができます。

● 情報収集ユニットがインターネットに接続されていないときは、見られません。

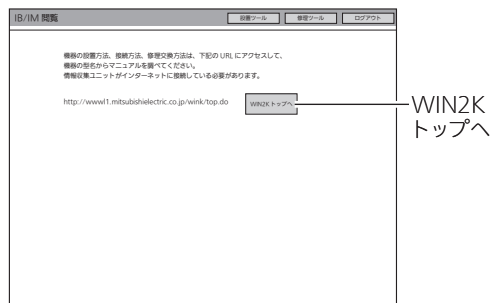
1 「IB/IM閲覧」をタップする

「IB/IM閲覧」画面が表示されます。



2 「WIN2Kトップへ」をタップする

ブラウザが起動して「WIN²K」に接続します。



対処

こんなときは

症状	原因・処置
タブレット端末またはパソコンを操作できない	①タブレット端末またはパソコンの電源を入れ直してください。
タブレット端末またはパソコンの電源がすぐに切れる	①十分に充電してありますか？ 十分に充電してから使用してください。
設置ツールのログイン画面が開かない	①URLが正しく入力されていますか？ URLを正しく入力してください。(→31ページ) ②IPアドレスが取得できていますか？ IPアドレスが192.168.32.100以降に割り当てられているか確認してください。 ③プロキシ設定がOFFになっていますか？ http://192.168.32.1:8080/set/login にアクセスできる設定か確認してください。 ④情報収集ユニットの電源が入っていますか？ 情報収集ユニットの電源が入っているか確認してください。 ※①～④の処置をしても改善されない場合は、情報収集ユニットの再起動スイッチを押して再起動してから確認してください。 再起動したときは、操作する前に再度、時刻設定を行ってください。(→33ページ) ※②、③について、詳しくは『据付工事説明書詳細編』『パソコン接続設定』をご覧ください。
ログインできない	①ログインID・パスワードは正しく入力されていますか？ 半角英数字または記号(英字は大文字／小文字)が正しいか確認し、再度入力してください。(→31ページ)
情報収集ユニットの電源を入れ直しても、機器を認識しない	①各機器を認識するまでに20分程度かかる場合があります。
情報収集ユニットの回線状況ランプが赤点灯になる	①ネットワークでループ障害が発生している可能性があります。 情報収集ユニットのWAN/LANポートの配線をご確認してください。 配線を直した場合は、情報収集ユニットの再起動スイッチを押して再起動してください。

概要

準備

ログイン

設置／接続

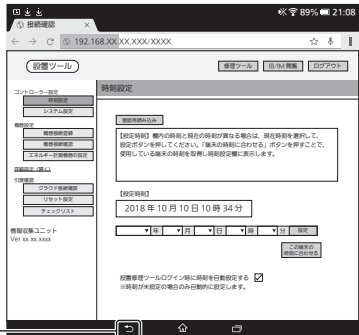
コントローラ設定

機器設定

引渡確認

対処

付録

症状	原因・処置
画面の表示が切り替わらない	<p>①通信する電波強度が不安定、または不十分になっている場合があります。 機器間の障害物を取り除くか、距離が離れすぎでないか確認してください。</p> <p>②通信が混み合っています。 タブレット端末の戻るボタン(🏠)をタップしてから、もう一度確認してください。</p>  <p>※①の処置をしても改善されない場合は、情報収集ユニットの再起動スイッチを押して再起動してから確認してください。 再起動したときは、操作する前に再度、時刻設定を行ってください。(➡33ページ)</p>
移設後や屋内配置変更後に通信が途切れる、または通信できない	<p>①通信する電波強度が不安定、または不十分になっている場合があります。 機器間の障害物を取り除くか、距離が離れすぎでないか確認してください。</p>
タブレット端末と情報収集ユニットの据付予定場所での電波が弱い(アンテナマークの本数が少ない)	<p>①電波強度が弱い場合は、据付予定場所を変更してから、もう一度アンテナマークを確認してください。</p> <p>②距離が離れすぎではありませんか？ タブレット端末と情報収集ユニットの間に障害物が存在していませんか？ 機器間の障害物を取り除くか、距離が離れすぎでないか確認してください。</p>
WPSを行ったあと、無線LANアダプターのランプ1が消灯している	<p>①無線アダプタが正しく接続されていない場合があります。 無線LANアダプターのRESETボタンを2秒ほど押して再起動し、再度、機器の接続/登録を行ってください。 (➡41～47ページ)</p>

症状	原因・処置
「機器接続登録」の【情報収集ユニット登録機器】に接続した機器が表示されない	<p>①接続した機器が表示されるまでに1分半程度かかることがあります。 しばらく時間を置いてから、「取得」ボタンをタップしてください。 (→46～47ページ)</p>
「機器接続登録」の【情報収集ユニット登録機器】の「動作状態」欄に「通信異常」と表示される。	<p>①RSSIの数値が正常な値ですか？ 無線LAN接続機器については、「機器接続確認」でRSSI/PERの測定を行い、RSSIの数値が緑色(－75dBm以上)であることを確認してください。(→48～49ページ)</p> <p>②情報収集ユニットとの通信ができていますか？ 有線LAN接続機器については、機器の有線LANアダプターと情報収集ユニットを接続しているLANケーブルに抜けや異常が無いか確認してください。</p>
<p>「エネルギー計測機器の設定」画面で以下の現象が発生する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電力消費量の数値がおかしい ●発電電力量がゼロから変化しない 	<p>①エネルギー計測ユニットのCT(電流センサー)が正しく取り付けられていますか？ エネルギー計測ユニットの据付工事説明書を見て、CTのクランプがしっかりとロックされているか確認してください。</p> <p>②エネルギー計測ユニットのCT(電流センサー)の取付位置や極性が間違っていないですか？ エネルギー計測ユニットの据付工事説明書を見て、正しい位置・極性になっているか確認してください。</p> <p>③エネルギー計測ユニットと情報収集ユニットとの通信ができていますか？ 通信ができていないときは、電力の瞬時値が変化しません。</p>
<p>「クラウド接続確認」で以下の内容が表示される</p> <p>「クラウドとの認証に失敗しました。」</p> <p>「クラウドから異常応答が返ってきました。」</p> <p>「クラウド・公衆網の間でエラーが発生しました。」</p>	<p>①情報収集ユニットの日付・時刻が正しく設定されていますか？ 正しい日付・時刻を設定してください。(→33ページ)</p> <p>②クラウドのメンテナンスが行われている場合があります。 症状発生時刻のクラウドメンテナンス情報を確認してください。</p>

症状	原因・処置
「クラウド接続確認」で以下の内容が表示される 「ブロードバンドルーターと公衆網間でエラーが発生しました。」	<p>①インターネットに接続できるよう、ネットワーク事業者との契約がされていますか？</p> <p>②ブロードバンドルーターとインターネットが正しく接続されていますか？ ブロードバンドルーターとインターネットが接続されていることと、ブロードバンドルーターの設定を確認してください。</p> <p>③症状が改善されない場合には、ネットワーク事業者に調査を依頼してください。</p>
「クラウド接続確認」で以下の内容が表示される 「情報収集ユニットとブロードバンドルーター間でエラーが発生しました。」	<p>①情報収集ユニットとブロードバンドルーターとは正しく接続されていますか？ 情報収集ユニットとブロードバンドルーターとが接続されていることを確認してください。 ブロードバンドルーターと接続しているLANケーブルが情報収集ユニットのLANポートに接続されていた場合は、WANポートに接続してください。</p> <p>②DHCPサーバーは起動されていますか？ ブロードバンドルーターの設定を確認してください。</p>
WIN2Kを見ることができない	<p>①「ポップアップブロックを有効にする」のチェックは、はずれていますか？ 「ポップアップブロックを有効にする」のチェックがはずれていることを確認してください(『据付工事説明書 詳細編』をご参照ください)。</p>

「詳細設定」について

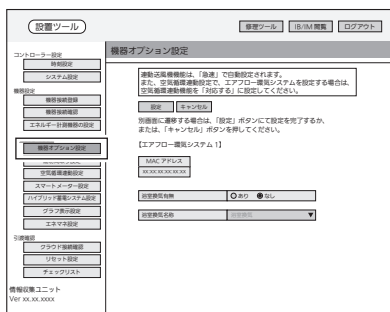
「詳細設定」では、接続された機器に対して行う特別な設定をしたり、ユーザーがタブレット端末用アプリやスマートフォン用アプリで行う設定を容易に行うことができます。

●「詳細設定」については、『詳細編』をご参照ください。(→3ページ)

「詳細設定」の各メニューについてご紹介します。

■ 機器オプション設定

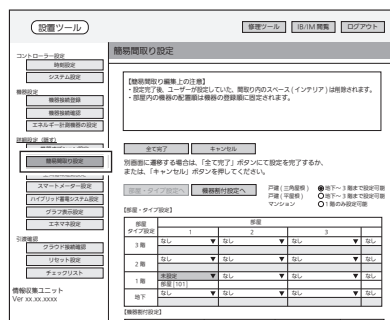
エアフロー環気システムについての初期設定を行います。



機器オプション設定画面

■ 簡易間取り設定

接続された機器を、あらかじめ設定した間取りに割り付けます。



簡易間取り設定画面

●簡易間取りを設定すると、お客様が使用するタブレット端末には以下のように表示されます。設定ツール画面では、この間取り画面は表示できません。



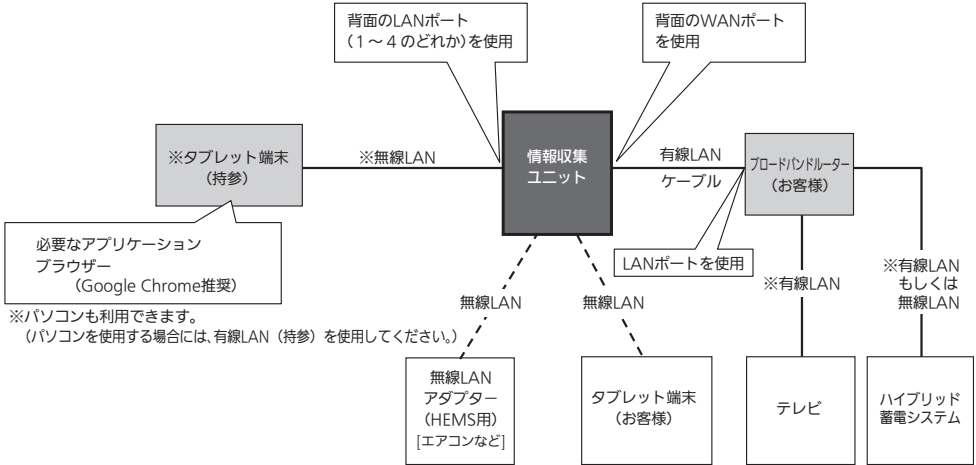
間取り例

接続の基本構成と動作環境

■ 接続の基本構成図

下図のようにタブレット端末またはパソコン（持参品）と情報収集ユニットをLANケーブル（持参品）で接続する。

- ブラウザーのキャッシュにより、ブラウザーに最新の情報が表示されない場合があります。
この場合は、【キャッシュの削除方法（Internet Explorer ブラウザー編）】または【キャッシュの削除方法（Google Chrome ブラウザー編）】をご覧ください。
- ブロードバンドルーターは、DHCPで情報収集ユニットに対してIPアドレスの払い出しができる設定が必要です。



※オムロン製太陽光発電用ハイブリッド蓄電システムの場合は無線LANで接続、田端電機製蓄電ハイブリッドシステムの場合は有線LANで接続してください。

※パソコン接続設定については、『据付工事説明書 詳細編』をご参照ください。

■ 推奨動作環境（2018年10月時点）

項目	推奨
ブラウザー	Google Chrome Windows Internet Explorer 11
ブラウザーのページズーム	100%
ブラウザーのフォントサイズ	中
ブラウザーのプロキシ設定	解除
端末（※iOSタブレットは対象外）	タブレット端末またはパソコン（持参）
ポップアップのブロック （Chromeブラウザー）IEブラウザー	ポップアップ表示を許可する

※ 1台の情報収集ユニットにアクセスできる修理ツールの端末は、1台（お客様端末含め複数台接続は保証外）。

仕様

エネルギーデータ取得仕様

- 積算エネルギーデータ取得間隔：30分周期
- 積算エネルギーデータ保存期間：
 - 時間単位・・・63日分（ただし、ガス・水道使用量 48時間分）
 - 日単位・・・24か月分（ただし、ガス・水道使用量 13か月分）
 - 月単位・・・20年分（ただし、ガス・水道使用量 13か月分）

※取得可能なデータは、消費電力、発電量、ガス・水道使用量です。データ取得には、計測機器、センサー等が必要です。販売店にご確認ください。

情報収集ユニットー各機器間通信仕様

- ECHONET Lite(エコーネットライト)規格準拠

三菱電機株式会社 京都製作所

〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所1番地



XZS-006

872C684D10